

## 1. 景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

### 1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北海道)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・北海道新幹線の効果により、飲食店などにプラスの効果が出ている。ただし、それほど大きく伸びているわけではない。
		一般小売店 〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・4月の売上が回復基調にある。年明けの1～3月に比べてもやや良くなってきている。ただ、4月は売上の上がる金土からの始まりで、終わりも金土であったため、そうした要因を勘案するとそれほど良いわけではないということも考えられる。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・客単価は前年並みを維持している状況が継続している。買上客数は店舗全体では前年割れからの改善とまでは至らないものの、婦人服を中心とした衣料品で前年を上回るようになってきており、底を打ってきている。また、店内の買回り客の動向からも客の購買率が改善傾向にある。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・気温の影響もあるが、3か月前と比較して販売量が101%と伸びている。
		スーパー（役員）	お客様の様子	・北海道新幹線の関連施設を中心に観光客が増加しており、観光産業を中心に景気が良くなっている。
		コンビニ（オーナー）	来客数の動き	・4月の売上は前年比112%であった。隣接しているスーパーの3日間の改装休業が寄与した。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・北海道新幹線の開業や例年より早い桜開花といった特殊要因はあるが、観光客の入込がすごく、売上は前年を15%上回った。特にディナータイムでは外国人客が半数近くを占める日もみられた。他店も同ような状況にある。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・前年にテロなどの影響を受け低迷していた海外旅行の申込動向をみると、欧米は引き続き厳しい状況であるが、リゾートや近隣のアジア諸国については需要が戻ってきている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・日勤帯、夜勤帯ともに前年よりも多少は売上が増えてきているため、やや良くなっている。
		観光名所（従業員）	来客数の動き	・4月27日時点の利用乗降客数は前年比113%と伸びており、実人数でも約1万5千人の増加となっている。ただ、北海道新幹線の開業後1か月の期間とすると伸びがやや弱いという印象もある。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客の来店周期が若干ではあるが短くなってきている。関連商材にも動きが出てきている。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	来客数の動き	・観光シーズンに向かっていくこともあり、徐々に輸送量が増加している。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・北海道新幹線の開業に伴い、ホテルや旅館、飲食関係では来客数がとても増えている。ただ、その効果が建築関連までには及んでいない。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・最近は分譲マンションのモデルルームに来訪した客のなかで、その後、契約に至る客の割合が上昇している。金利が低い現在、分譲マンションを購入しようと動いている客が増えている。
変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・4月に入り、午前中の人出は少ないものの、午後になると入学、卒業、就職などといった季節特有の買物客が比較的多くみられた。しかしながら、中旬以降は区域内の駐車場にも空きが多くみられるようになり、月全体での前年比は若干低調に推移した。また、中国人を始めとした外国人観光客も前年と同様に今一つの状況であり、物販店ではそれほど売上が伸びなかった。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（代表者）	販売量の動き	・今年の春は気温の低い日が続いており、春物の売上が低迷している。また、熊本地震の影響から客の間に自粛ムードが漂っており、消費意欲の低下がみられる。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・外国人観光客の来店が大幅に減少する一方で、地元客による売上が回復してこない。来客数も前年から5%ほどダウンしている。フリー客の雑貨購入は健闘しているものの、ファッション関連や高額商材のマイナスが大きい。
		百貨店（担当者）	来客数の動き	・来客数の動きに変化がみられない。
		百貨店（役員）	来客数の動き	・競合他店の状況も含めて、来客数の動きに変化がみられない。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・大型連休や自動車関連の増税に備えているという客の会話を耳にする。客は日々の生活において極力無駄遣いをしないようにしている。
		スーパー（役員）	来客数の動き	・4月の売上は前年をやや上回って推移している。商品単価が前年から2.0~2.5%低下しているなかで、客単価が前年から0.2~0.3%の低下しているものの、客の買上率が前年よりも2~3%上昇しており、来客数も増加している。ただ、販促によって数値の変動がみられることから、消費者が相当シビアに買物をしている様子がうかがえる。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・売上よりも来客数の減少幅が大きくなってきている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・春になり客が街を歩き始めるようになってきた。ホテルでの催事への来場も前年よりも良く、売上が増加した。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・来客数は前年からやや減少したものの、売上は微増した。前年よりも高額商材が売れている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車が出た割に販売量が今一つの伸びであった。
		自動車備品販売店（店長）	競争相手の様子	・当社も、競合店も夏タイヤと車検の販売実績が前年の90%台にとどまっている。特に夏タイヤは天候に左右されたことで販売量が伸びず、売上に響いている。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（経営者）	販売量の動き	・石油製品価格が安定しており、販売量が伸びている。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・アジアからの団体旅行が低調に推移している。その一方で、Webを中心とした国内からの個人旅行で人員をカバーしている。
		旅行代理店（従業員）	単価の動き	・旅行需要が増えてくる季節だが、熊本地震の影響で取消が相次いでいる。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・前年実績と比べても、前月実績と比べても売上がほとんど変わらない。
やや悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・月初めは来客数、客単価共に前年の80%程度で推移した。後半になり少しは持ち直してはいるが、前年の90%にも届かない状況である。
		一般小売店[土産]（経営者）	お客様の様子	・例年と比べて卒業旅行の大学生が少なかった。そのほか、新卒者を3名採用したが、3名とも社会人用の服を買ってもらえなかったとの話であった。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・来客数の減少以上に買上客数の減少が大きく、買上率及び客単価のダウンに歯止めがかからない状況である。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・4月も不振で販売量は前年比89.3%であった。3か月前の1月よりも悪かった。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合店の対策チラシが増えてきている。また、地元百貨店の閉店が報道されるなど、厳しい環境にある。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・売上の内訳を分析すると、来客数は増加傾向にあるものの、商品単価の上昇が続くなかで、買上点数の減少が続いており、消費者の価格上昇に対する慎重な購買行動がみて取れる。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・たばこについては4月からの一部商材の値上げにより販売量が減少している。アルコール類については一部商材の値上げにより販売量が減少しているほか、低価格商材へのシフトがみられ、客単価が低下している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・天候面での影響により農家の動きが鈍い。また、気温が低いことから夏型商材の低迷が続いている。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・前年と比べて販売点数が90%で推移するなど少なく、必要最低限のアイテムしか購入に至っていない。天候不順の影響もあるが、熊本地震の影響で客の購買意欲がなくなってきている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車、中古車ともに成約に結び付かない。他社の動向や他業種も同様の状態のようであり、地域経済が平均して下向き気味になっている。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・新型車両の発売にもかかわらず、イベントに来場する客の数が少ない。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・4月の売上はぎりぎり前年並みとなった。例年4～5月はゴールデンウィーク以外の期間が悪い。今年の春から値下げ、告知の拡大と手を打ってきたものの、思ったような成果が得られず、多少の停滞感がうかがえる。北海道新幹線の開業効果は、函館周辺ではプラスの効果が表れていると聞いているが、札幌では北海道新幹線の形をした容器に入った駅弁が売れている以外はあまり話題に上がっていない。
		観光型ホテル（役員）	来客数の動き	・道外からの国内客と外国人観光客のいずれも来客数が減少しており、景気は3か月前と比較して悪化している。さらに、熊本地震や為替の円高傾向の影響もあり、国内外ともに予約数が伸びていない。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・4月は観光要素があまりなく、航空需要が低迷する時期である。さらに、熊本地震により直近の九州旅行のキャンセルが相次いでいる。旅行消費のトレンドは下降傾向にある。
		タクシー運転手	販売量の動き	・前年と比べて運送収入、運送本数ともに微減が続いており、景気の停滞感が否めない。
		タクシー運転手	販売量の動き	・3か月前と比べて売上が14%程度下がっており、やや悪くなっている。北海道新幹線が開業したが、予想よりも利用客が少なく、売上も伸びていない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・前々月以降、来客数が減少傾向にある。特に3月中旬以降の減少幅が大きい。外国人観光客による利用は平年並みだったが、国内客の減少幅が大きい。
		タクシー運転手	販売量の動き	・例年のことだが、天候に左右される業界であるため、3か月前の冬の時期と比較するとこの時期の景気は良くない。
		通信会社（社員）	お客様の様子	・客は予算以上の買物は絶対にしない。欲しくても買えないというのが今の状況である。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・総務省のタスクフォースの影響を強く受け、道内主要都市の専門店での販売量が想定よりも大きく減少している。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・イベントに合わせて来客数が集中するため、3か月前と比べると売上がやや悪くなっている。
悪くなっている		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・4月に入り、肌寒い日と暖かい日が交互に続いていることから、来客数が前年の9割を下回っており、売上も前年の90%台前半となっている。全館的に婦人物、紳士物ともに厳しい状況にある。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・沿岸部を中心に売上が回復する様子がみられない。来客数の鈍化も続いており、特に夜間の減少が目立っている。当地では3月に高速道路が延長されたが、逆に市内を通る車が減少しているほか、札幌や帯広に流れる人が増えているとみられる。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・来客数が少ないうえ、単価の高い商材の動きも良くない。
		その他専門店【医薬品】（経営者）	お客様の様子	・健康に関連する様々な情報訴求を行っているが、さっぱり客のニーズに合わないようだ。
企業動向関連 (北海道)	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・中小規模の建築改修工事の入札において、建設会社の職員不足のせいなのか、不落の案件が多くなっている。ただ、業界の景気自体はやや良くなっている。
		輸送業（支店長）	取引先の様子	・冬場に比べると取引先の物量や見積数が増えている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金融業（従業員）	それ以外	・北海道新幹線が開業し、道南を中心に活況を呈している。外国人観光客の入込の増加が続き、観光関連が好調を持続している。マイナス金利への不安感も薄らぎつつあり、食料品を中心に個人消費も改善基調に転じている。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・補正予算が執行され、新しい案件が出てきた。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（役員）	受注量や販売量の動き	・新年度になり、客先からの見積案件が増えてきた。消耗資材の売上は低迷中だが、大型設備案件の納入により売上全体が底上げされている。
	変わらない	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べて販売量は増えているが、前年と比べてあまり変わらない量である。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・27年度における道内飼料工場の生産量は前年比101%の353万トンとなり、前年を上回ったものの、全国ベースでは2,399万トンと前年から17万トンの減少となり、3年連続で前年割れしている。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前は今後の景況感に対して警戒感を持つ状況であったが、4月になり受注量や引き合い件数が持ち直しており、堅調に推移している。
		司法書士	取引先の様子	・冬期間が終わり、不動産取引や建物の新築において多少の上向きがみられるが、例年のことであり、全体的には依然として低水準で推移している。消費税増税を控えての駆け込み需要を期待しているが、3か月前と比べてあまり変わってこない。
		コピーサービス業（従業員）	取引先の様子	・熊本地震の影響が大きい。熊本を始めとして九州に事業所のある会社は軒並み予算を修正してバックアップしている状況である。また、工場の多い地帯でもあっても少なからず影響してくるとみられる。
	やや悪くなっている	その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上が引き続き前年割れとなっている。ただ、前年比は3か月前とほぼ同水準である。
		家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国の政策が有効に機能していないことに加えて、熊本地震の影響などにより、消費者の購買マインドが冷えてきている。
司法書士		取引先の様子	・例年、土地や建物の売買、建物の新築の動きが活発になる時期であるが、低調のままである。	
司法書士		取引先の様子	・建築資材価格や賃金の上昇に伴う販売価格の上昇で販売が奮わない。また、給与の上昇が低いあるいはゼロのため、新築物件を買う層が少なくなっている。これらのことから、景気回復の兆しはみられない。	
悪くなっている	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度の変わり目ということもあるかもしれないが、少なくとも前年の同時期と比べると減速感が明らかに大きくなっている。	
	-	-	-	-
雇用関連 (北海道)	良く なっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人の依頼が確実に増えている。職種別にみると、コールセンターのオペレーターの求人ニーズは恒常的に高いほか、営業・経理の求人も多い。派遣の稼働人数も3か月前と比べて約2割増で推移している。4月に春の各種キャンペーンがあったことを踏まえても人材ニーズが高まってきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年から7.8%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。月間有効求人数は前年から5.1%の増加となり、8か月連続で前年を上回った。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	求職者数の動き	・農繁期に向けて人手不足感が顕著になってきている。また、非正規の求人ではあるが、派遣会社の求人数が増加している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	採用者数の動き	・新規求人や休眠顧客からの求人が前年よりも増加しているが、新規就業者が減少傾向にあるため、人材採用をできない企業が増加している。特に介護業界や建設業界の人材採用が厳しいほか、大型チェーン店の採用活動も苦戦している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・北海道新幹線が開業するまでの1年間は観光や外食産業での求人が好調で全体の求人数の増加に良い影響があったが、開業後の状況についてはまだ判断できない。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・売り市場ということもあり、企業からの求人は相変わらず多いが、厳選採用の傾向に変化はなく、欲しい人材しか採用していないため、状況に大きな変化はみられない。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・前年と比べて求人件数が10～13%程度減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・73か月連続で前年を上回っていた月間有効求人数が前年を下回った。さらに、新規求人も16か月ぶりに前年を下回った。
悪くなっている	-	-	-	

## 2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (東北)	良く なっている	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・今年は例年に比べて春が早いので暖かく、春物、特にスーツやジャケットなどの動きが良い。
		商店街（代表者）	単価の動き	・現状の流れとしてはさほどの変化はない。ただし、単価が多少上昇しているものの、来客数が減少していることが懸念材料である。
	やや良くなっている	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・販売量が3か月前と比較して105%と顕著に良くなっており、売上も伸びている。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・復興住宅からのカーテンやふとんの注文が徐々に増えている。
		百貨店（買付担当）	お客様の様子	・気温が高めで推移しており春物の動きが良い状態である。また、セール品をまとめ買いするなど、購買意欲のある客が増えてきている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が増加傾向にあることから、景気が上向いていると実感している。
		コンビニ（店長）	競争相手の様子	・競合店の影響はかなり大きいですが、冬場に比べて経費面の負担が減り、来客数も戻ってきている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・暖かくなって客は初夏物の準備を始めているのか、人通りも多くなり、商店街にも活気が出てきている。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・クルーズ客船前での販売が非常に良い状態である。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・メディアなどに紹介されて販売量や売上が増加した前年との比較となるため、前年比が落ち込むことを心配していたが、大きな予約が入ったこともあり、前年並みで推移している。ただし、良い時と悪い時の差が激しい状況でもある。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・ホテル全体、特に歓送迎会シーズンによる宴会需要が前年比でプラスとなっている。また、有名絵画展覧会の開催効果でレストランの来客数が増加している。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・3月から継続している新生活応援キャンペーンの効果もあり、新規の加入者が増えている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・前年よりも天候に左右されずに来客数が伸びている。2～3か月前には無かったフリー客の増加もあり、人が外に出かける傾向になっているのではないかと。そのため、景気がやや上向いている感がある。
		競艇場（職員）	単価の動き	・来客数はそれほど変わらないものの、1人当たりの単価が数千円ほど上昇している。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・今年に入り来客数が増加している。
その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	販売量の動き	・新年度に入っても販売量、売上共に好調である。		
住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・小規模な分譲地を開発しているが、造成完成前にほぼ完売している状況である。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・昭和の高度成長期を経験した者にとっては、失われた20年や米国の大手金融機関の破たん後のことを考えれば、随分落ち着いてきており、消費者が身の丈にあった生活を着実にやっているように見受けられる。デフレを脱却するなどという大見得を切らずに、これをスタンダードとして、成熟社会の王道を進めばよいのではないか。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・桜の開花が例年より早く、4月の上旬～中旬は満開であった。そのため、花見客が2次会などで夜の街に流れてくると期待していたが、そのような傾向は全くみられず、町の消費動向になんら影響を及ぼさない状態である。
		一般小売店〔カメラ〕（店長）	販売量の動き	・高額商材に動きがみられているものの、低価格商材の動きが鈍く販売量は横ばいで推移している。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・卒業や入学、新社会人など春のセレモニーのシーズンであるが、衣料品を中心に単価が上がっていない。また、返礼ギフトも例年に比べて減少している。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・一般的な景気状況に変化はなく、年々減少する来客数を目の当たりにしている。また、4月は三寒四温の状態です。初夏物の動きが不安定になるなか、今年は特に夏日が続いたかと思えば気温が10度まで落ち込んだりするため、今売れるべき洋服アイテムやパンツのセットが伸び切れていない。さらに、来客数の減少も目立っており、花見やゴールデンウィークにおける来客数の減少も気になるところである。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・4月は1品単価、来客数共に前年並みで推移しているが、安売りで買上点数が増加したため、売上は前年をクリアしている。客はより価格に敏感な印象であり、財布のひもが固い状態が続いている。そのため、消費傾向に変化はない。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・売上の前年比は105%であり、3か月前から直近では約103～105%で推移している。そのため、動向にあまり変化がない状況である。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・特に変化はない。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数の増加がそのまま売上の増加につながっている。ただし、買上点数は大きく伸びているものの、1品単価は下がり続けている。
		スーパー（営業担当）	来客数の動き	・来客数の前年比は減少傾向にある。しかし、1品単価が上がっており、売上の減少を食い止めている。
		スーパー（営業担当）	お客様の様子	・ここ数か月は既存店の数値にほぼ変化がない状況である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少がそのまま売上減少に直結している。しかし、客単価や買上点数は前年並みであり、景気が冷え込んでいるという印象はない。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・やや悪い状態が続いている。周辺の企業も給料はあまり上がっていない様子であり、客はなかなか新しい商品に手を伸ばそうとしない。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年比100%を維持しているが、客単価が上がらない状態が続いている。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・来客数における前年比のマイナス幅が拡大しており、回復の兆しがみられていない。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新入学生の需要や初給料で身の回りの関連商品が動くことを期待したが、思いのほか良くない状態である。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・ビジネス用品のニーズが減少している。また、カジュアルにおいて単価が稼げるインポート商品の動きが鈍くなっている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・4月の来客数は前年より微増しているが、チラシによる超特価商品を購入する客が増えているためである。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・4月は学生需要に特化した商品が動いて売上に表れる月であるが、今年はそのような動きが見受けられていない。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・4月中盤以降は新規来客数が減少傾向であり、需要期が過ぎ去った感がある。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・決算月である3月に客の動きは多少あったが、4月になって元に戻っている。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・仏壇仏具販売店へと業務形態を変更したが、最近では小型仏壇や家具調仏壇を求める客が多く、価格面では落ち込む傾向となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・今月は歓送迎会、異動、花見といった需要が期待できる月である。しかし、地元では来客数はあるものの、お酒の売上にはつながらずに販売量が落ち込んでいる。また、県外都市部では特定の商品が売れてはいるものの、全体の落ち込みをカバーするまでには至っていない。
		その他専門店 〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・4月は繁忙期であるにもかかわらず前年に比べて販売量が減少している。受注自体が減っており、顧客単価も下がっていることが要因であるが、そうなった原因がわからない。例年とは違う動きになっているのかもしれない。
		その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・販売量の動きがこれまでの状況と変わらない状態が続いている。
		高級レストラン（経営者）	販売量の動き	・少しは景気が良くなることを期待していたが、消費者のマインドは、さっぱり持ち上がっていない様子である。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・新しいシーズンを迎えて活気に満ちてはいるものの、客の動きなどからは、良くも悪くも生活が変化しているような様子が見受けられない。
		観光型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・相変わらず個人消費が鈍い状態が続いている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・閑散期のため動きは少なく、例年とあまり変わらない状況である。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・ふるさと割の取扱により団体旅行は好調であるが、個人旅行はあまり芳しくない状況である。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・国内は北海道新幹線が開業したものの、北陸新幹線開業ほどの予約状況には至っていない。また、ゴールデンウィークも曜日並びの関係で平年並みの申込数となっている。海外については、少しずつ夏に向けた受注が増えてきているが、安価で高品質な商品を客がじっくりと検討しており、まだまだ様子見の傾向がうかがえる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・景気は良くなっている。客から不景気な話どころが大変順調であると聞いている。タクシー業界も特別良いわけではないが、切れ目なく乗客がいる状態である。
		通信会社（営業担当）	単価の動き	・東日本大震災の復興が熊本地震と重なり、東北地域の復興が鈍くなってきている。熊本地震の被災地の方々の気持ちを痛感しており、今後はお互い経済力をつけていかないと景気は上がらない。マイナス金利政策の影響もなく、前月と変わらない状況が続いている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・顧客の設備投資意欲に変化がみられない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・商談において、価格要求が厳しい状況である。
		遊園地（経営者）	来客数の動き	・前年は天候その外の要因で不調であったが、今年は気候が温暖に推移しており、月末のゴールデンウィーク次第ではあるものの、平年並みの来客数を確保している。
		美容室（経営者）	単価の動き	・客単価はここ数か月横ばいで推移しており、前年と比較しても動きに変化はない。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・美容室のシャンプーやトリートメント剤を購入する客は、会計時に消費税が加算された額を見ると、かなり高く感じる様子であり驚いている。いまだに消費税増税は定着していないのではないかと。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・今年の春は早い時期から暖かくなっているが、商店街に来る客は今一つという雰囲気である。駅及び駅周辺の整備で商業集積が拡大したことが、相当影響しているように見受けられる。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	販売量の動き	・作品の話題性や新作のシナリオの傾向がマンネリ化しているため、販売量が伸び悩んでいる。
		百貨店（総務担当）	来客数の動き	・衣料が売れていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前年12月の地下鉄新規路線開通、今年3月の駅前大型商業施設のオープン後、街なかの人の動きに変化が表れており、来客数が減少している。また、今まで好調であった生鮮食品、総菜など食品の売上が減少している。ただし、大型商業施設オープンの効果で街なかには多く、消費行動の落ち込みはない。
		百貨店（経営者）	販売量の動き	・新年度に入り、新生活、返礼ギフトや高額商材、紳士衣料が伸び悩んでいる。全体的に来客数が減少しており、接客をしていますが、客から生活防衛的な話を多く聞いている。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・熊本地震を機に、ごちそうを控えめにするなど、買物が少し抑え気味になっている様子が見える。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・高齢者の客が買い控えている。さらに、子育て世代に買い回りの傾向がみられている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3か月連続で来客数が前年を下回っている状況である。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・競争環境の悪化と天候不良により、来客数が減少している。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・客は売場を吟味しながら安い商品を選んでいる。また、元気が無く非常にいらいらしている様子の客が目立っている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・客は価格に対してますますシビアになっており、春物の実需期であるにもかかわらず、販売量、単価共に前年を10%ほど下回っている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・エアコンなどの季節商材は前年並みであり、単価の高いものも売れている。また、冷蔵庫や洗濯機などの買換え需要の商品も前年並みで推移している。しかし、テレビ、パソコンは前年比90%もしくは90%を下回っている。全体的には客の買換え需要が底堅く、単価も少し下がっているように見える。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・消費税増税後の反動減は解消されつつあるが、大手自動車メーカーの燃費不正問題で該当する軽自動車販売停止となった影響は大きい。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・受注量が前年比で約8割程度となっている。また、熊本地震の影響により、メーカーの生産ラインが一時停止している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・大手自動車メーカーの燃費不正問題があり、軽自動車が1台も売れなくなっている。
		乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・初売りなどがあった1月と比較すると、来客数は減少している。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・オーダーメイド家具の生産のため、年度末までは前もっての受注が多い状態であったが、その分4月は受注残が少なくなっており、販売量も少ない状況である。
		その他専門店【酒】（経営者）	販売量の動き	・今月は特に販売量が低調であり、平日は飲食店からの発注も少ない状況である。消費税率10%への引上げや熊本地震などに対して消費者の反応が敏感になっており、購買意欲が著しく低下している様子が見える。
		その他専門店【靴】（従業員）	販売量の動き	・納品先の在庫調整で売上に影響がでている。また、売れ筋商品の取扱に強い大型店に客を奪われている。
		その他専門店【ガソリンスタンド】（営業担当）	販売量の動き	・暖冬傾向が続いているため、暖房用燃料の販売量は前年比80%台と低調で推移しており、収益が悪化している。また、原発事故の除染が一段落しており、新たな需要も無いため、軽油の販売量も減少している。
		その他小売【ショッピングセンター】（統括）	それ以外	・熊本地震による影響が、企業の生産活動にも表れてきている。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・気温の上昇に伴い、外食をする客が増えることを期待していたが、来客数は前年に比べて下回っている。特にディナー時の法人利用の低迷が大きく影響しており、予約状況も今一つ伸びていない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・前年より少しずつ商品の値上げをしているが、そうすると客が来店する間隔が広がってしまう。今までは価格を少し高くしたほうが良いといわれていたが、他店をみると値下げをしているようであり、景気は若干悪くなっているのではないかと懸念している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・東日本大震災の年を除き、こんなに暇な4月は初めてというくらいに来客数が少ない。昼の客も少ないが、夜の客が1人も来ない日があったりと、非常に厳しい状態が続いている。	
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・熊本地震の影響で、九州の客からキャンセルが出ている。また、全国から集まる大会などの中止による影響も出ている。	
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・北海道新幹線開業の影響があるのか、当地域は青森に向かう東北の玄関口であるため、当ホテルの宿泊稼働率は非常に良くなっている。その点は良いのだが、一般宴会、婚礼部門は今一つの状態である。	
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・法人、団体の利用数、個人の来客数共に前年を下回っており、来月以降の予約も芳しくない状況である。	
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・数か月前から停滞感が続いてきたが、4月中旬から徐々に下降気味に推移している。前年比も大きくマイナスとなり、明らかに景気が悪くなる方向に進み始めている。	
		旅行代理店（店長）	それ以外	・熊本地震の影響もあり、旅行業界としては顧客の動向が読めない状況である。	
		タクシー運転手	お客様の様子	・地下鉄新規路線開通の影響が段々大きくなってきている。	
		タクシー運転手	来客数の動き	・とにかく乗客が少ない。前は良く年配の客が病院へ行くためにタクシーを利用していたが、最近は全く利用しなくなっている。	
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・マイナス金利の導入以降、景気は低下している。客の様子をみても消費に二の足を踏んでおり、財布のひもが固くなっている。	
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・商品の値下げ要求が多くなっている。	
		観光名所（職員）	来客数の動き	・ゴールデンウィークに入り寒さが戻ったせいか、来客数が少ない状態となっている。	
		その他住宅[リフォーム]（従業員）	販売量の動き	・前年はエコポイントの追い風があったが、今年は消費税率10%への引上げによる追い風が吹く気配はない。	
		悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・メインである企業の消費がほとんど止まっており、非常に深刻な状態である。
			商店街（代表者）	来客数の動き	・一極集中がより強く見受けられており、中央大手と地元の格差を実感している。
一般小売店[医薬品]（経営者）	来客数の動き		・今月は非常に悪く、客単価、来客数共に約15%の落ち込みとなっている。2014年4月の消費税増税直後に近い状況であるが、当時と異なり、どうしてこのような急激な落ち込みとなったのか要因を測りかねている。		
乗用車販売店（店長）	それ以外		・大手自動車メーカーの燃費不正問題により、軽自動車の販売が停止となっている。当店の主力車種であるため、販売台数の減少により減収となっている。		
企業動向関連 (東北)	良く なっている やや良くなっている	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・年度毎発注の公共工事などを中心に、一定の受注が確保できている状況である。	
		食料品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・地元駅の改装が完了しており、人が集まってきている。	
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・前年同時期及び3か月前と比較して、売上が5%ほど増加している。	
		広告業協会（役員）	それ以外	・3月下旬にオープンした駅ビル商業施設は、地下鉄新規路線開通もあり好調である。中心部の百貨店や専門店にも波及効果があり、2か月連続の増加となっている。そのため、広告市場も底堅いといえる。	
	変わらない	農林水産業（従業者）	それ以外	・果物農家の収入が前年の2割増しであったため、今月も農機具の買換えをする農家が目立っている。	
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月は駅ビルの新館オープンにより駅構内の店舗の売上が増加したが、4月に入り春休みが終わると元に戻ってしまっている。	
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・依然として販売量が伸びず、前年比90%台が続いている。	
		木材木製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・住宅部材の販売単価の改善が進まない状況が続いている。	
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月の売上は前年並みで推移している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		土石製品製造販売（従業員）	受注量や販売量の動き	・新年度となったが、大きな工事が入っていない状態である。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・販売量が下げ止まった状態のままであり、大きな変化はない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気の動向がはっきりしないため、客は先に備えてお金を使わない気持ちが強くなっているように見受けられる。
		建設業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・手持ち工事の稼働率は高い状態が続いている。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・業種による増減はあるが、全体的には安定した物量となっている。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・顧客減少を補うため新規開拓を開始しているが、認知度が低いため苦戦を強いられている。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・設備投資をする企業は増えていない。また、人材を採用する企業も増えてはいない。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・円高、株安など市場動向が激しく、様子見の状況が続いている。
		金融業（広報担当）	取引先の様子	・北海道新幹線開業の影響については、まだ判断ができない。
		公認会計士	取引先の様子	・建設業関係は売上、利益共に減少傾向ではあるものの、一定の利益は確保しているため大きな変化はない。ただし、小売業、サービス業関係は、業績が伸びている会社と減少している会社との差が大きくなっている。
		コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・売上は、ほとんど変化がないまま推移している。
		その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・地元は小規模企業や零細企業が多く、給与が上がらず賞与もほとんど無いことから、消費者の財布のひもが固いままの状態である。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・発注案件数が少ない状況が続いている。
		やや悪くなっている		農林水産業（従業員）
一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き			・依然として受注量が前年を下回っており、回復していない。
電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子			・大手の動きが止まっているのか、末端の設計事務所の仕事が減ってきている様子である。
広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き			・年度契約の印刷料金や広告料金の下落が大きい。価格競争が更に激化している。
経営コンサルタント	取引先の様子			・春の賃上げの状況において、報道で伝えられているような上げ幅にはなっていない。
悪くなっている		繊維工業（経営者）	取引先の様子	・とにかく店頭の売行きが悪い。
雇用関連 (東北)	良く なっている	-	-	-
		やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き
	やや良くなっている	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・仕事は多いが、それに対して従業員の数が足りていない。求人を出してもなかなか人手が集まらないので景気は良くなっているのではないか。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・北海道新幹線を利用した個人旅行客が増えるなど、開業効果が表れている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・幅広い業種で求人活動が活発になってきている。
		変わらない	人材派遣会社（社員）	それ以外
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・地元私立大学の今年の卒業生の内定率をみても、前年と同等かそれ以上の状況となっているため、現在の景気は比較的良好な状況にあるといえる。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者が増加しない状況が続いている。
		人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・中小企業の採用難は相変わらずである。駅前大型商業施設オープンによる労働力の偏り、求人メディアのWebによる好待遇職種への応募の偏り、少子高齢化に対する企業の対応の遅れなど、要因は様々だが企業活動に与える影響は少なくない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		新聞社〔求人広告〕(担当者)	求人数の動き	・地元駅の改装や北海道新幹線開業の影響により、駅を中心に盛り上がりを見せている。景気上昇感があり、採用においても普段より多くの求人が寄せられている。しかし、それ以外の地域ではマイナス気味であり、平均するとそれほどの効果が無く、駅前が1人勝ちの様相を呈している。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人では製造業、サービス業のほかに、その他のサービス業として人材派遣求人が増加している。
		職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・製造関係の事業縮小や、介護関係の事業の閉鎖のような相談がやや増えているようである。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求職者数、有効求職者数の減少傾向に底打ち感が出てきている。また、新規求人数並びに月間有効求人数の増加傾向が緩やかになりつつあるものの、有効求人倍率は9か月連続して1.1倍台以上で推移しており、求人数の増加が続いていることに明るい印象がある。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・有効求人数は前年と比較して2か月連続で減少し、新規求人数も4か月連続で減少している。しかし、求職者も減少傾向にあるため、状況に大きな変化はない。
		職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・有効求人倍率は上昇傾向にあり、景気回復の兆しが見受けられる。しかし、売上が増加していても収益が思うように伸びずに、苦戦している企業が多い様子である。
		職業安定所(職員)	それ以外	・製造業において、事業縮小により従業員を解雇する事業所が複数発生している。
やや悪くなっている		民間職業紹介機関(職員)	求人数の動き	・震災復興関連事業もようやく終了に向かってきているが、これに伴う求人の減少を、他業種でカバーできていない。
			-	-
悪くなっている				

### 3. 北関東(地域別調査機関:株式会社日本経済研究所)

(- : 回答が存在しない、\_ : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (北関東)	良くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・大河ドラマ効果は絶大で、平日はドラマ館見学の団体バスで道路が渋滞、関連イベントでは街全体がテーマパークのような人出である。
	やや良くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・新学期の販売も終わったが、追加注文も多く、1着買ったがもう1着あったほうが良いというようなことで、思ったより数が出ているので、景気もいづから良いかと思う。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・2~3か月前と比べて、来客数、消費者の購入量、単価の値動きもすべて良くなってきている。売上も増加し、日々の景気が上向きになっている。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・全体的に来客数が改善している。陽気の影響で花見シーズンが短めに終わったり、山菜が例年より2週間ほど早まっていたりと、やりづらいことも多いが、それほど悪くない。
		観光型ホテル(経営者)	来客数の動き	・国内客が減少するなか、それを補えるくらい海外からの客は増加している。
		都市型ホテル(副支配人)	販売量の動き	・インパウンドが過去最高を記録するなど団体予約が好調な反面、個人予約が伸び悩んでいる。
		テーマパーク(職員)	来客数の動き	・暖かくなり天候が落ち着いてきていることや、記念イベントなどを開催したことから来客数が増加している。
		観光名所(職員)	来客数の動き	・観光シーズンが始まり活気が戻ってきた。来客数、売上共に好調な出足である。
		ゴルフ場(支配人)	来客数の動き	・例年の春の降雪もなく、順調に予約を伸ばしている。周辺コースも予約は全体的に好調のようである。
		ゴルフ場(総務部長)	来客数の動き	・5月の入場者の予約状況は、前年をやや上回っている。
		その他サービス〔葬祭業〕(経営者)	お客様の様子	・葬儀の問い合わせがとて増えており、依頼につながっている。
変わらない	商店街(代表者)	来客数の動き	・春の祭りの人出は多かったのだが、買物客にはならない。熊本地震の影響もあってか財布のひもが固くなっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・花が咲き始め、人の動きが良くなってきたが、中旬に起こった熊本地震の影響があまりない当地でも、儉約、節約の空気が流れている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・商品の動きが非常に悪い。消費者に購買意欲がみられず、販売側の施策に耳を傾ける間もない。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前年同月に比べ降雨日が少なく、売上は3か月前に比べるとやや良くなっているが、これはインバウンド等の外的要因によるもので、実質の部分では大きく変わっていない。
		スーパー（経営者）	それ以外	・大きな変動要素はない。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・売上は前年と同じで、衣料品と食料品はよく売れているが、住まいの品が不振である。生活準備品が売れる時期だけに大きい。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・熊本地震が消費マインドにマイナスの影響を与えており、保存性の高い商品は売上が伸びているものの、全体としては買上点数が減少している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今年は大河ドラマゆかりの地ということで、街全体では前年比で4倍近く来客数が増加している状況が1月から続いているものの、当店はそれほど増えていない。もう少し増えても良いと思う。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・一般的には景気回復、有効求人倍率上昇等、景気向上気味な発表が多いが、客の様子を見ると、先行き不透明で、景気回復の実感が乏しいなか、必要な物にはお金を使うが、余計な買物をしないよう必要数のみ購入している姿も見受けられる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客の購買単価は少々上がったが、来客数は増えていないので、あまり変わっていない。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・天候等による来客数の変動はあるが、客単価に大きな変動はないようなので、あまり変化がない。
		家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・リオデジャネイロオリンピック等のイベントがあるが、電化製品に動きはなく、盛り上がりがない。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・新年度を迎えたが、市場に全く活気が見られない。消費拡大の要因もなく、相変わらず客が慎重な様子である。政治に対する不透明感、不信感をよく耳にする。
		乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・毎年ゴールデンウィーク前は、客入りが悪い。今年の4月も例年同様に来客数が少ないため、輸入車だけのミニ展示会を少々変わった趣向でやってみたが、散々な結果であった。毎年4月は悪いが、今年の4月は極端に来場者数が少ない。
		乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・春闘結果は中小企業の賃金には反映されず、衣料、食品以外は依然買い控えにより消費が低迷している。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・1品単価は上昇しているが、買上点数は減少傾向にある。トータルの売上高は前年実績を下回っている。消費マインドはそれほど上がってきてはいない。むしろ景気に対する警戒感すら感じているようである。
		住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・食品の売上は堅調であるが、その他住関連商品の動きはやや鈍い。日用消耗品やペットフードなどは低価格志向が強まりつつある。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・後半は天候も良く、花見客、県外客の入込があった。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年並みで推移しており、景気に変化は感じられない。街中では観光シーズンに入ったため中国人等の団体バスが見受けられるが、街中にお金を落とす気配はない。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・今年の1月は暖冬で道路に雪もなく、当館の集客は好調であった。大河ドラマの影響により、県の東側の地域は春の集客が引き続き好調である。売上の増加割合が同等のため、3か月前と比較して変わらない。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・季節も安定してきて、来客数は徐々に増加している。特に、東京を基点に移動する外国人観光客の動きは顕著である。しかし、日帰りのため、当地での支出はあまり期待できない。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・まだまだ来客数が少ない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・国内団体旅行は相変わらず受注状況や来客数の動きが鈍いが、個人旅行の受注は好調である。海外旅行はテロが大きく影響していて、ヨーロッパ方面の動きが非常に鈍い。アジア方面またはオセアニア方面は前年並みである。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・販売量に顕著な伸びが見られない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・深夜の利用客がいない。今月は歓迎会の時期で、週末に多少動きがあったが、その他の日は全くといって良いほど利用客がいない。
		タクシー運転手	単価の動き	・夜のタクシー利用が少なく、遠距離の客がいないので、単価が低い。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・月半ばまでは良かったが、月末にかけて動きが悪くなり、前年同月と比べ3%減少している。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・新年度になっても目新しい材料が見当たらず、相変わらず新規加入に向けた動きは鈍い。
		通信会社（局長）	お客様の様子	・新サービスの増加により、客の選択肢が増えているものの、客の動きは鈍い。
		競輪場（職員）	お客様の様子	・来場者数、購買単価共にほとんど変化が見られない。
		その他サービス [イベント企画]（職員）	お客様の様子	・先日、スポーツイベントが開催されたが、客の動きは例年と変わらない。
		設計事務所（経営者）	販売量の動き	・完成物件は少なく、収入は減少している。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・2～3か月前と状況が全く変わらず、来客数の動きが非常に悪く、危機的状況である。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・事業用については変わらず売却が多いが、一般の仕入用の物件が少ない。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・新年度の異動が終わったためか、貸家、アパート等の問い合わせが大きく減ってきている。土地等についても、安い土地は引き合いがあるが、普通の土地はさっぱり引き合いがない。商店街等については、まだシャッターが増えている。その理由としては、やはり後継者がいない、大型スーパーに客を取られているということで、閉店が続いているようである。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・駅前通り商店街でもあまりに来街者が少なく、平日は通勤客があるのみで、買物客は全くいなくなっている。16年続いた飲食店でさえも、店をたたんでしまっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・常連客だけで新規客はほとんどない。常連客は高齢者が多く、足も遠のいてきている。
		一般小売店[衣料]（経営者）	来客数の動き	・新学期が始まったので、新学期関係の受注を受けて頑張っている。
		一般小売店[家電]（経営者）	販売量の動き	・客の消費意欲がなかなか高まらない。
		一般小売店[青果]（店長）	お客様の様子	・本当に必要なもの、特別安いものしか買う様子が見られない。昔のように、お見舞い、お遣い物、贈答用というのはほとんどなくなっている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・婦人服の不調が継続している。4月に入り、ある程度の回復基調が見られるものの、他の商品群と比較すると依然として極めて悪い。食料品やファッション雑貨は堅調に推移しているが、婦人服のマイナス分を補てんするには至っていない。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・来客数が減少し、駅前の人出も少なくなっている。
		百貨店（副店長）	販売量の動き	・客の消費の仕方そのものが根底から変わってきている。熊本地震が落ち着いたら自粛ムードが薄れるだろう、ゴールデンウィークが明けたら、または気温が上がったら良くなるだろうといった、いつもの希望的観測はさすがに通用しない。来客数に比べて売上の落ち込みが大きい。トップの富裕層以外は客数、買上共に大きく落ちている。
		スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・3月までは順調に推移していたものの、競合店の出店やリニューアルなどによる影響が大きく、苦戦している。
		スーパー（副店長）	お客様の様子	・大きな被害の出た熊本地震があり、客の買物にも少なからず自粛的な雰囲気を感じる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・周辺企業の業績が悪化している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・先月は年度末の駆け込み需要があったが、今月は熊本地震による消費の自粛ムードが、各商品群の販売量が伸びていない。テレビは前年比70%、好調だった白物家電も冷蔵庫99%、洗濯機95%と販売量が伸びていない。売上は前年比98%で着地の様子である。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・決算期を過ぎたため、受注が芳しくない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車両販売は軽自動車中心で売上高が微減、また、車検台数が前年比10%くらい落ち込んでいる。努力をしているのだが少々辛いところである。
		乗用車販売店（統括）	お客様の様子	・大手自動車メーカーの燃費不正問題により、自動車業界全体が同じように見られ、自動車販売が全体的に落ち込む可能性がある。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量があまり伸びない。いろいろと手を打ってはいるが、やはりなかなか財布のひもが固く、今までと同じやり方では現状維持、または伸ばしていくことは難しい。
		その他専門店【燃料】（従業員）	販売量の動き	・販売数量は3%ほど低下してきている。今後は更に販売数量が減少する傾向にある。
		一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・同業者からも話を聞いているが、夜の来客数が非常に少なく、売上がなかなか伸びない状況である。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子、競争相手の様子などから、とにかく景気の良くなる要素が一つもない。今回の熊本地震も大変である。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・前年は北陸新幹線の延伸や地元名刹の例大祭があり、来客数、販売量共に非常に増加した。今年、別の地域の名刹では7年に1度の例大祭があったが、やはり落ち込みが目立っている。
		タクシー（役員）	お客様の様子	・客の様子からそう感じている。
		通信会社（営業担当）	それ以外	・株価の下落、内需の低下なども影響し、消費が若干冷え込んでいる。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・今まで客から施術料金の領収書を求められることはなかったが、今月3人の客から領収書をもらいたいと要望された。理由を聞いたら家計簿に記入するためと言われたので、節約している人がだんだん増えてきたと感じている。
		その他サービス【自動車整備業】（経営者）	競争相手の様子	・整備単価を極端に低く設定する大型店の影響が出てきた。客は安かろう悪かろう意識であると思っていたら最近違ってきた。他店の見積より安くできないか交渉する客が現れるようになり、一層シビアなビジネスを強いられている。
		その他サービス【立体駐車場】（従業員）	お客様の様子	・来客数、販売量共に若干下向きになっている。単純に人を比べると若干下向きであるため、やや悪くなっている。
		設計事務所（所長）	それ以外	・新年度に入ったが、周りでは今年度は厳しいとの声ばかり聞こえる。
悪くなっている	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・3月後半ごろから人出が極端に少なくなってきた。本当に4月なのかと思うほど人出が少なく、もちろん売上にも結び付いていない。金額云々というよりも、やはり何か不安材料があるようである。	
	通信会社（経営者）	販売量の動き	・メイン事業であるグラフィック、ウェブのデザイン業務は、建設業のみ受注が増加し、その他の業種は減少の一途である。公共機関でさえ年度末の支払が遅れている。	
	通信会社（社員）	お客様の様子	・買換えの需要が減少しており、値上げで今後更に減少する。	
企業動向関連 (北関東)	良く なっている やや良くなっている	-	-	-
		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・2～3か月前は落ち込み幅が大きかったが、その時点から考えれば、受注量が前年並みに持ち直しつつあり、いく分良くなった。今後落ち込みがなければ良い。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車メーカーからの受注量が増加している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他製造業 〔環境機器〕 (経営者)	受注量や販売量の動き	・現在の3本柱の3つ目、自社太陽光発電所は、5か所目まで完了し、連携で3.6メガになり、順調に稼働している。今から6か月間で1メガ増加になる予定である。その他は概ね良好に推移している。
		建設業(開発担当)	受注量や販売量の動き	・当社は公共工事が主体であり95%を占める。現政権のもと、この3年間安定した公共工事の発注がある。前政権時には、コンクリートから人への政策のため厳しい時期であった。今年度は1月ごろまでは前年比8%近い発注額減であったが、ここへ来て前年並みの発注額まで回復し、安心している。当社も前年並みの受注額がありひと安心である。ただ、経営は相変わらず経費節減を図りながら何とかしのいでいる状況である。
		輸送業(営業担当)	取引先の様子	・今月半ばの熊本地震により、特に緊急常備品として懐中電灯、ランプ、卓上コンロ、ポンペ等の用品がネット通販及びホームセンター向けの物量が目立って増加している。
	変わらない	窯業・土石製品製造業(経営者)	取引先の様子	・一般商品受注の動きは多少あるものの、特注品動向はない。
		窯業・土石製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・良くなることを期待している。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注は少し増加しているが、それほど大きな変化はない。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・1~4月の取引先の様子や受注量等は非常に好調である。4月は若干落ちているが、まずまずの販売量、販売価格、受注量である。
		金融業(経営企画担当)	取引先の様子	・製造業については、取引先の動向に変化を感じられない。観光業のホテル、土産物店については、外国人観光客が増加しており、宿泊、売上状況は良好である。
		新聞販売店〔広告〕(総務担当)	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は、前年比98.7%である。25日ごろまでは80%台であったが、月末の日並びと連休が始まる効果で盛り返した。歓迎会、お花見の時期だが、予約状況は低調であった。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・前年度末の繁忙期が過ぎ、新年度の異動シーズンも落ち着いて、全般的に地域の経済活動も一段落している。個人消費にあまり大きな変化はない。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・少しずつ良くなっているのは確かだが、判断を上げるほどではない。
		社会保険労務士	取引先の様子	・中小事業所は販売価格が抑えられて売上増まではいかず、材料費は上昇しているため、利益は減少している。
		その他サービス業〔情報サービス〕(経営者)	受注量や販売量の動き	・特段の変化はみられない。
	やや悪くなっている	食料品製造業(営業統括)	受注量や販売量の動き	・ガソリン価格の高騰や円高傾向により、工場来場者の減少や低コストの輸入ワインの増加がみられ、国産ワインは苦戦を強いられている。
		金属製品製造業(経営者)	取引先の様子	・取引先2社から、仕事がないので下請に出す仕事がないと言われた。そのため、新しい取引先を探す努力をしている。
		一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・新規の引き合い案件は出てきているが、受注の伸びは鈍化傾向にある。また、堅調に生産をしていた自動車量産部品も熊本地震の影響で取引先より納入ストップの指示があり、売上につなげることができない状況にある。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・景気は回復どころかますます後退している。受注量もかなり落ち、厳しい状況である。物があまり動かない。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕(経営者)	受注量や販売量の動き	・卸小売向け展示会が開催されたが、来場者数は減少し、売上は前年比で34%減少した。中国人バイヤーの仕入も前年比30%にとどまっている。2月以降低迷している市況の影響が大きい。先行きの厳しさを感じている。
		建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・例年に比べ公共工事の早期発注も少なく、仕事がない状態である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業では先行きへの不透明感が高まっており、景況感が悪化している。非製造業でも、観光業は大河ドラマや名刹の7年に1度の例大祭のイベント効果による下支えがあるが、建設業では発注量の一服がみられ、景況感の水準が低下している。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新年度になって、販促の勢いが止まった。ゴールデンウィークに向けた広告ツールなどの発注が、前年より5%程度減少している。
	悪く なっている	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・景気が悪く、給料が上がらないなかで、同じものであれば安い物を買う傾向があり、販売点数が2割ほど減少している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の生産計画減に伴い、当社の受注も大幅に減少している。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・先月まで受注していた定期作業が打ち切りとなってしまい、代わりに新規の業務も受注できなかったため、今月は業務量が減少し、売上がかなり減少している。
	雇用 関連 (北関東)	良く なっている	-	-
やや良く なっている		-	-	-
変わらない		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・全業種で高卒、大卒、短大卒等の新卒者が入ったが、製造業は少ない。パート労働者の増加といったところから、製造業全般の動きは落ち着いている。住宅関連や公共事業に関する建設、土木、建築は少ないようである。青果等の価格が若干上昇していることにより購買力が鈍っていることと、春物の衣料が若干良い。
		人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・中小零細は給与アップがない企業があったり、当然のことながら賞与も予定できないため、採用も相変わらず控えている。
		人材派遣会社（支社長）	求職者数の動き	・職場見学、マッチング後のキャンセルが相次ぎ、スタート日に現れないスタッフも出ている。直接雇用などを優先し、派遣契約を軽視する思考傾向が強い。4月1日スタートに漏れた求職者の切羽詰まった実情が垣間見える。
		求人情報誌制作会社（経営者）	周辺企業の様子	・4月は新年度スタートの月に当たり、周辺の大手企業は新卒採用を増やしたので、中途採用はほとんどしていない。求人募集は特に飲食業が多い。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人は増加しているが、伸び率が低下している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数は42か月連続で前年を上回っていた。有効求人倍率もかなり上向きな状態が続いているが、求人内容に特段大きな変更はない。景氣的にはあまり変わっていない。
やや悪く なっている		人材派遣会社（経営者）	それ以外	・仕事量はあまり変わらないが、単価が徐々に低下し、経営が苦しくなっている。何か良い考えはないかと思っている。
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・新年度の影響で例年求人は少ない傾向だが、今年度は例年以上に求人数が少ない。生産数が低迷しているため、製造派遣の求人が少ないことが原因と考えている。派遣社員にて生産調整しているようである。
悪く なっている		-	-	-

#### 4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (南関東)	良く なっている	一般小売店〔家電〕（経理担当）	来客数の動き	・4月になった途端に来客数も多く、エアコン取り付けや電気工事関係の仕事が入り、忙しい。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・連休が始まると、出かける方がとても多いので、我々の商売は非常に良くなっている。
	やや良く なっている	一般小売店〔文房具〕（経営者）	来客数の動き	・前月と比較して、来客数、買上客単価共に、やや増加傾向にある（東京都）。
		一般小売店〔傘〕（店長）	販売量の動き	・新学期シーズンから引き続き商品が動いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店(店長)	来客数の動き	・前年の天候不順に対し、今年は気温上昇とともにアパレルが回復傾向にある。
		スーパー(経営者)	それ以外	・店の雰囲気明るくなっている。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・2月に改装があったので、1月に比べてその分、数字的にはやや良い傾向である(東京都)。
		コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・直近では好天に恵まれ、飲料を中心とした気温の影響を受ける商材の売行きが好調である(東京都)。
		衣料品専門店(経営者)	単価の動き	・今月は学用品の売上が一番多い月である。制服、体育着、運動靴すべてが値上がりしている。生徒数も若干増えたお陰で売上が2けた増である。他の衣料品も値上がりし、1点単価は上がったものの販売量が落ちたので、こちらは前年並みである。
		その他専門店[雑貨](従業員)	単価の動き	・今まで多かったアジア系外国人の他に、欧米、特にフランスなどからの客が、たくさん買うケースが多い(東京都)。
		一般レストラン(スタッフ)	お客様の様子	・良いというほど良くはないが、実績が良かった前年売上は達成できており、一時よりは動きもあるので、やや良いとしている。
		都市型ホテル(スタッフ)	来客数の動き	・季節的に需要が高く、年初よりは良くなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・ゴールデンウィークを控えている4月前半は、ここ数十年変わらず活気がなく、空車も目立っていたが、連休前日にはどこの盛り場へ行っても空車タクシーの不足が数時間続いている(東京都)。
		通信会社(管理担当)	販売量の動き	・通信業界は、関東、関西、九州で事情が異なり、エリアによっては販売量が伸びている。電力小売や光回線への取組み、携帯電話ショップでの獲得事情によって差が出ている。全国規模の会社にとっては、実績を伸ばせる下地があるように感じる。
		通信会社(経営企画担当)	お客様の様子	・2~3か月先の案件予想から、やや良くなっている(東京都)。
		設計事務所(経営者)	お客様の様子	・やや良くなると答えたが、行政案件は良くなっていない。民間案件でこれまでに説明をしたり、いろんなことで相談に乗ってきた物件が、徐々に物件として現れてきている。特にこの4月後半からは、過去の仕事が芽吹いてきて、新しい仕事になっている。行政の入札は相変わらず少ないが、民間案件で非常に伸びている。
		設計事務所(経営者)	お客様の様子	・新規大型物件計画に参加する話が、具体的になってきている。計画の前段階だが、具体的な契約にはまだ至っていない。
		住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・例年、ゴールデンウィークまでは客の動きはあるが、今年はやや悪いようである。今月の販売量は目標数字の約95%となり、景気はどちらとも言えないが、3か月前と比べるとやや良くなっている。
		変わらない		商店街(代表者)
商店街(代表者)	来客数の動き			・最近、商店街を歩く来街者数が若干少ないように感じる。また、入店する客単価も通常よりは少し減っている。先の消費税増税もあるが、生活のバランスを考えて、ここではあまり消費しない方が良いという判断をしているように見える。
商店街(代表者)	来客数の動き			・最近の天候をみると、景気が良くなるとは考えられず、かなりひどい方向に向かっていると思うので、なるべく天気が良くなることを祈っている(東京都)。
一般小売店[和菓子](経営者)	来客数の動き			・天候が安定しないため、来客数が減少している。週末開催の春祭りが大雨で、例年の3分の1の売上となってしまう、期待した売上につながらない。
一般小売店[家電](経理担当)	販売量の動き			・商品の動きは、悪いながらも工事、修理などの受注は多い。難工事や、手間のかかる依頼などで利益率は良くなっている。
一般小売店[家具](経営者)	来客数の動き			・来客数、販売量共に少ない。ただし、工事、内装関係は、やや仕事があるようである(東京都)。
一般小売店[印章](経営者)	来客数の動き			・店前の道路にはあまり客らしい人が通行していない。目的があって歩いている人はいるが、当店に立ち寄ってくれる客はほとんどいない。
一般小売店[米穀](経営者)	お客様の様子			・客の会話から購買力をみると、必要な物を必要なだけ買うようなスタイルになっている(東京都)。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔文具〕(販売企画担当)	販売量の動き	・売上量、単価、来客数いずれもあまり変わっていない。当店では季節変動があり4月は元々売れる月ではあるが、良くも悪くもなく、さほど変わっていない。3か月前と比べてどうかというと、3か月前は悪くもなくだんだん良くなっていたが、今はそれが安定した状態になってしまっている。
		一般小売店〔茶〕(営業担当)	販売量の動き	・毎年、新茶予約を実施しているが、1人当たりの購入点数が減っており、売上も減少している。
		百貨店(広報担当)	お客様の様子	・新規企画をした催事の集客が好調で、3か月前は前年割れであった来客数が、ほぼ前年並みまで戻ってきている。しかしながら、前月から当月にかけて気温が低く、来客数の増加が春物商材の実売に結び付いていない。また、入学卒業のハレの日の消費が見込める春先の婦人衣料なども、新規購入ではなく小物でアクセントをつけるなど工夫して過ごす傾向があり、婦人衣料は相変わらず回復してこない(東京都)。
		百貨店(計画管理担当)	お客様の様子	・長い間低迷している婦人服の売上は、やや回復の兆しを見せているものの、雑貨やアクセサリ類の復調はみられない。相変わらず悪いという感じである(東京都)。
		百貨店(副店長)	お客様の様子	・季節が変わり、消費の上向きを期待していたが、客の行動に大きな変化は感じられない。むしろ不安定な株価動向などの影響を含めて、慎重な動きにみえる。
		スーパー(経営者)	販売量の動き	・本来は買上点数の伸びる時期だが、今年は伸びてこない(東京都)。
		スーパー(販売担当)	お客様の様子	・客は、広告初日の目玉価格商品を買回る、あるいは、ポイント何倍の日であるとか、時間帯セールを利用するというように、それぞれの店の特典を探しながら、各店のポイントで買物をしている動向が多い(東京都)。
		スーパー(経営者)	単価の動き	・ずっとやや悪い状態が続いている。今月の天気も非常にポイントとなる所で雨に降られたりして、良くなるかと思ったが、例月通りの状態になっている。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・来客数は前年並みに推移しているものの、ある程度の価格を打ち出しても以前ほどの販売量増加につながらず、まだ財布のひもは固いように感じる(東京都)。
		スーパー(営業担当)	販売量の動き	・現状この2~3か月間は変わらない。来客数、販売数、買上単価、いずれも同レベルで推移している。1年前の上昇ムードから停滞し、2~3か月前の状況と変わらずに推移している(東京都)。
		スーパー(仕入担当)	お客様の様子	・今年は桜が咲いている期間が長かったため、上旬の春休み期間は行楽商品の動向が良かった。ただし、それ以降の週末に雨、風等の日が多く、前年並みの売上に落ち着いている。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・天候にもよるが、日によってまちまちで、良いとも悪いとも言えない(東京都)。
		コンビニ(経営者)	お客様の様子	・大手スーパーが連日のようにチラシを入れ、安売りを続けているが、客はコンビニとスーパーを使い分けており、来客数、客単価共に大きな変化は起きていない。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・来客数は、前年比98%くらいで推移している。例年3月末から4月初めにかけて、近隣の事業所、販売店等、客の転勤、転入があり、がらっと客の顔ぶれが変わる時がある。今年に限れば、来客数が減少しており、転勤する常連客と新しく転入してくる客の比率では、出て行った客が多い。
		コンビニ(経営者)	単価の動き	・単価は少し上がってきているが、チェーン全体の既存店の売上は、99.7%と聞いている。不安材料が多いため、楽観視はできない。
		コンビニ(商品開発担当)	来客数の動き	・特売やポイントカードの施策によって、客単価は向上しているものの来客数は減少し続けており、3か月前と比べても、全く状況が変化していない(東京都)。
		衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・天候の影響もあるが、悪かった3か月前と比べれば来客数は上がってきているものの、まだ前年の来客数や売上には届かない。60~80代の元気な女性がキーワードになるのではないか。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・今月中旬までは前年に比べ、売上金額、来客数共に、ほぼ同様に推移していたが、熊本地震の後には外出を控えているのか、高齢者の来客が少なくなり、春物衣料の売行きは良くない。
		家電量販店(統括)	来客数の動き	・依然、来客数の減少が止まらず、前年比95%である。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・自動車の整備と販売業だが、整備は順調に入っているものの、販売があまり芳しくない。前月より3割減となっている。
		乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・店舗ごとではなく会社全体でみても、例年同様販売量が少ない。
		乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・熊本地震の復興事業やオリンピックに向けたいろいろな設備投資に対する期待もあり、そこそこ良くなるのではないかと見通していた。ここへ来て荷動きがそれほど良くない上に、燃料が値下がりしたことによる大手企業からの配送運賃の値下げ交渉などもあり、なかなか景気は良くなっていない。現状維持ではないかという話をいろいろな客から聞いている(東京都)。
		乗用車販売店 (店長)	販売量の動き	・非常に厳しい状況である。新型車発表となり来客数は多くなったが、購入までには至らない。
		その他専門店 [ドラッグストア](経営者)	来客数の動き	・今月は競合の新規開店により来客数が減り、影響を受けている。しかし独自施策により多少盛り返し、前年並み実績となっている。熊本地震の影響で、チラシ日程が変更になったり、入荷しない商品が出てきている。
		その他専門店 [ドラッグストア](経営者)	来客数の動き	・来客数の動きは変わらない。
		その他専門店 [貴金属](経営企画担当)	それ以外	・毎月、販売量は前年同月比2%程度マイナスである。客単価は毎月、前年同月比4%程度プラスで、全体としてはやや良い状態を維持している(東京都)。
		その他小売 [ショッピングセンター](統括)	お客様の様子	・将来不安からか、4月に入り客の動きが鈍化している(東京都)。
		その他小売 [ゲーム](開発戦略担当)	販売量の動き	・良い状況にあるわけではないが、概ね前年並みの見込みである(東京都)。
		高級レストラン (副支配人)	来客数の動き	・法人関連の宴会、個人のレストラン利用共に、ほぼ前年並みの来客数である(東京都)。
		高級レストラン (仕入担当)	単価の動き	・4月から一部値上げをした商品もあるが、全体的に値上げできるほどの勢いが無い(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・3月の忙しい時期が過ぎた後なので、いつも通り4月の売上にもあまり変化はみられない。今年も前年同様、それほど変わらない。
		一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・ランチタイムを全面禁煙にしたところ、来客数は微増している(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	競争相手の様子	・3月にやや下振れするような気配があり、4月前半はその延長だったが、中旬からは、ぐっと盛り上がり客の動きが良くなっている。下町の同業他社に聞いても、3月より4月の方が持ち直しているという話である(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・今月は企業の歓送迎会の予約もかなりあり、各団体の総会などの利用もあったので、予約数は以前より増えている(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・当社は季節的要因で売上が変わる。3月以降9月までが繁忙期で売上は多くなる。今月は値上げを実施したことで売上は増えているが、周囲の景気は横ばいと感じる。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・レジャー等に出掛ける人は増えているが、身の周りを見ても、レジャー費を増やしている人はそれほど多くはない(東京都)。
		その他飲食[給食・レストラン](役員)	競争相手の様子	・他社の売上高、経常利益の前年比をみると売上高は若干減、経常利益は好調というのが大勢を占める。当社もほぼ同じ動きであるが、経常利益の増加は経費削減等の自助努力によるものである。取引先の景気に連動する委託単価の上方への改定の動きはない。このような動向を見るにつけ、景気が改善しているとは思えない(東京都)。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		都市型ホテル（総務担当）	販売量の動き	・ホテル客室稼働率や物販売上等、比較的好調ではあるが、これ以上良くなるとは思えない。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・バス料金は上がったものの、予算は前年度と変わらず上がっていない。
		旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・例年に比べてゴールデンウィーク商品の申込が、少ない(東京都)。
		旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・欧州のテロの影響ははまだ残っており、企業の出張が活発であるとか、観光客が増えたという感じはない(東京都)。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・ケーブルテレビ、インターネットは予算達成だが、固定電話、携帯電話勧奨、仮想移動体通信事業、電力小売が未達である。営業員、アフターサポート要員の参加率が少ないため、参加率向上とセールストークの徹底を落とし込んでいる(東京都)。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・引越シーズンのため、入居に伴う新規契約件数が増加しているが、転居に伴う解約件数も増加している。新規契約は、インターネットサービスと電話サービスが多く、テレビサービスを含めた3点セットの契約も伸びている(東京都)。
		通信会社（営業担当）	単価の動き	・多チャンネルサービスは、安価なコース契約の比率が高い状態が続いている。
		通信会社（局長）	お客様の様子	・電力小売全面自由化が始まり、大きな動きがあるかと期待したものの、想定したほどには客の活発なアクションがなく、慎重さがうかがえる(東京都)。
		ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・来場する客層やその表情が、そこそこ明るいため。
		ゴルフ場（支配人）	競争相手の様子	・当地区ゴルフ場の来場者数、収益共に、前年同時期に対し、若干ではあるが減少している。
		ゴルフ場（支配人）	お客様の様子	・毎月、来客数は目標に対し若干の増減を繰り返している。来客動向も時間的に余裕のある年代が客の中心のためか、天候に左右される要素がより強く出てきている。
		その他サービス [ 保険代理店 ]（経営者）	販売量の動き	・例年であれば1～4月は販売量が上がるが、今年はあまり変わらない。マイナス金利等の一部の悲観的な報道が世間全体の消費に影響し、なんとなく買い控えている様子である。
		その他サービス [ 電力 ]（経営者）	お客様の様子	・新築マンションの建設は相変わらず好調で、今後も当社の受注は堅調に推移しそつである(東京都)。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・仕事量が非常に少ない。公共案件は5月の連休明けからぼちぼち出てきそうだが、住宅を含む民間案件は全く元気がない。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・設計業務はサイクルの長い仕事なので、現状は、そのサイクルのなかに入っている(東京都)。
		設計事務所（職員）	それ以外	・建築設計業界での民間案件動向は芳しくないものの、全体的には横ばいと感じている(東京都)。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・前年度決算月の反動で、毎年4月は受注、売上共に落ち込むが、今月は特に前年比を10%ほど下回っている。消費税増税を意識したユーザーの動きもあまり感じられない(東京都)。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・販売量が例年に比べ、やや劣っている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・3か月前から順調に推移しており、景気は変わらずこのまま高水準で行くと感じている。客の動きも活発である。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅展示場及び現場見学会への来場者数は横ばいもしくは減少傾向が続いているが、成約状況に増減はない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・3月までは、良くなったり悪くなったりを繰り返しながら、良い方向に動いていたように思う。熊本地震以来、急に客のマインドが冷えた感がある。街に来ている人の数は減ってはいないが、財布のひもは固い(東京都)。	
	商店街（代表者）	販売量の動き	・熊本地震などの天災がマスコミで連日報道されている影響なのか、消費者の購買意欲が上らず、前年比10%前後の売上減となっている(東京都)。	
	一般小売店 [ 祭用品 ]（経営者）	販売量の動き	・年度が替わったものの、消費が全く動かない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店 〔茶〕(営業担当)	販売量の動き	・客の業務縮小やリストラなどの影響で注文が来なくなっている。売上が減った分は、なかなかすぐには取り返せない。それが大口客の場合には、当社にとってかなりのマイナスである(東京都)。
		百貨店(売場主任)	単価の動き	・熊本地震以降、高額品の需要が落ち込み、客単価が5~10%低下している。必要なもの以外はよく吟味して買う傾向である。アパレルに加えて服飾雑貨も化粧品を除き、軒並み売上に苦戦している。
		百貨店(総務担当)	お客様の様子	・高額商品の一部に動きはあるものの、総じて買い回りが悪く販売につながっていない。オケーション対象商品の動きは良いが、通常の消費は慎重な動きをしている。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・前年に比べて来客数が減っている。単価も上がらず苦戦しており、婦人服は今後もこの状況に変化はない(東京都)。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・3月下旬から徐々に売上が厳しくなってきた。4月中旬の熊本地震の影響はどの程度か判断がつかない。婦人アパレルを含め不要不急の商品の買い控えが目立ってきている。ただ東日本大震災に比べて、売上減の影響は少ない。食料品及びインバウンド需要のある商材は堅調であるが、その他のカテゴリーは厳しい(東京都)。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・前月同様に下降しており、熊本地震以降はさらに下降傾向である(東京都)。
		百貨店(営業担当)	販売量の動き	・前年の売上実績を割り込んでいる。客の購買意欲は半年前に比べて、非常に落ちている(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・4月以降、一部食料品や国民年金保険料など値上げが相次ぎ、客の消費マインドは低下している(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・3月にやや持ち直した来客数が、4月に入り前年割れしている。天候要因に加え、熊本地震が消費者に心理的な影響を与えたことも原因と感じている。食料品は比較的堅調なものの、衣料品等は特に不振であり、必需品以外の買物に対する消費者の意識がシビアになっている。
		百貨店(営業企画担当)	販売量の動き	・訪日外国人の売上は、前年比プラスで推移しているものの、それを除いた売上は下降気味である。また、これまで堅調であった富裕層の売上も前年を下回ることが出てきたため、あまり景気が良いとは言えない(東京都)。
		スーパー(総務担当)	お客様の様子	・4月は、中旬までは比較的売上も好調だったが、中旬以降、非常に売上の厳しい日が続くようになり、結果トータルとしては若干厳しい状況になってきている。特に気温の寒暖差があったこともあり、衣料品の売上が落ち込み、寝具類などの売上も厳しい。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・競合店の出店もあるが、総じて消費者の財布のひもは固い。
		コンビニ(経営者)	単価の動き	・平日の客単価が5%ほど下がっている。熊本地震もあり、無駄遣いしない雰囲気になっているのかもしれない。
		衣料品専門店(営業担当)	販売量の動き	・客の様子からみると、本当に財布のひもが固くなり、物を買わない。本当に必要な物だけを、一番安い物を探して買っている。
		家電量販店(店員)	単価の動き	・商品の動向について、市場が盛り上がっていない(東京都)。
		家電量販店(経営企画担当)	来客数の動き	・元々景気は悪くなっている印象のところ熊本地震が発生し、拍車が掛かったとみている。レジ通過の精算客数も前年を下回る状況である(東京都)。
		乗用車販売店(経営者)	来客数の動き	・3月の決算セールで反動で、今月は来客数がかかり減ってしまい、販売量も落ちている。
		住関連専門店(統括)	販売量の動き	・来客数はある程度見込んでいるものの、それに伴う成約率が低く、実質販売金額、販売量に結び付かない。
		一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・景気のせいかはっきり分らないが、来客数は確実に減少しており、予約も少ない。近隣に競合店等の出店が多く、その影響もあるため、一概に景気の良し悪しとは判断し兼ねるが、売上は落ちている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・3か月前の1月1～25日までの前年比は、売上101.3%、来客数98.8%という結果である。4月1～26日までの結果は売上94.5%、来客数95.0%である（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・4月になっても新入社員の歓迎会が行われていない。3月は送別会があるが、4月に歓迎という形での宴会は行われていない。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・3か月前の年末より来客数が落ちている。3か月前は忘年会シーズンであるが、前年と比べても来客数が落ちており、周辺店舗も前年より景気が悪いという店が多い（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・徐々にではあるが、全体的に販売量が落ちており、直近の動きも鈍い。好調だった宿泊稼働も落ち着き、景気はやや悪くなっている。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・熊本地震の影響があり、旅行は少し自粛したいという傾向がみられる。客同士の来店も若干減っているように感じられる。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・熊本地震の影響による取消しが相次ぎ、今月の目標値から大きく下落している（東京都）。
		タクシー運転手	お客様の様子	・唯一の頼みだった昼間の利用まで減り、かなり厳しくなっている。週末の金、土曜日はそこそこの動きはあるが、週に2日だけでは厳しすぎる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・都内中心部のコンピューター関係の会社や、大手銀行の動きがよくつかめないが、残業を減らしている。その点で少し心配である（東京都）。
		タクシー（団体役員）	来客数の動き	・例年4月は比較的人の動きはあるが、今年は街中が静かである。熊本地震による気持ち的な落ち込みがあるのかもしれない。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・デジタル多チャンネルサービスの契約数が、目標を大きく下回る日が多くなっている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新規加入、サービスコース変更共に、無駄を省き、必要最低限の内容を選択する傾向が強い。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・消費税増税を控えたなかで熊本地震が発生し、身の回りを含めた社会全体の消費傾向に陰りが見えている（東京都）。
		通信会社（管理担当）	販売量の動き	・前年同時期に比べ、売上高、売上総利益、受注高が減少している（東京都）。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・3か月前と比べてやや悪くはなっているものの、前年同月と比べるとほとんど変わらない。ただし、前年同月は実績が悪いため、今年の4月も若干悪いということである（東京都）。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・スポーツやレクリエーション、誰もが何かしら楽しんでいると思うが、ゴールデンウィークを前に、やや財布のひもを固くしたのが、ゴルフ場への来場者数が思うように伸びていない。
		パチンコ店（経営者）	単価の動き	・店内の1円パチンコという、低料金の玉貸し台に客が良く付いている。今、トータルの売上が上がっているのは唯一この1円パチンコである。そのようなことからやや悪くなっていると回答した（東京都）。
		その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	お客様の様子	・当社は自動車販売店だが、熊本地震で、メーカー全体の車両の生産が落ち込んでいる。売上面では配車が遅れるという形でマイナスとなっている（東京都）。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	お客様の様子	・客の支払などに遅れが生じることが増えている。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・全体的に同業者の間でも、仕事量が非常に少なくなっている。この先に増える見込みもない。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・当社は住宅を主に扱う不動産デベロッパー業と総合建設業だが、一昨年4月の消費税増税以降は、全く販売量が伸びない。客の所得が増えないところに、増税と物価上昇で、やがて、住宅ローンが支払えなくなるという不安を持っているようである。一方、総合建設業では、公共工事は多いものの、工事原価も上昇しているため、赤字になってしまう案件も多い。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	お客様の様子	・例年ならこの時期になると、いろいろと相談があるが、今年はその動きが全くない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪くなっている	その他住宅〔住宅資材〕(営業)	お客様の様子	・建築需要の減少が、客の言葉からも直接聞こえるようになっている(東京都)。
		一般小売店〔食料雑貨〕(経営者)	来客数の動き	・近隣に競合店が増床オープンした影響を受けている。
		百貨店(店長)	販売量の動き	・経済が混迷し、先行きにますます不安を募らせていることから、百貨店の中心客である、いわゆる中流層に買い控えの現象が起こっている。
		乗用車販売店(総務担当)	来客数の動き	・決算後の反動減が予想以上にあり、厳しい状況となっている。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕(営業)	販売量の動き	・とにかく売れず、市場に人が来ない。どうなっているのか(東京都)。
		高級レストラン(経営者)	来客数の動き	・3～4月という飲食店の繁忙期はずが、来客数が伸びない。当店の客単価は約4,300円と、地方都市としては高めの設定のため、より安価な店へと流れているとの話を聞く。
		旅行代理店(販売促進担当)	それ以外	・今月は熊本地震により、多くのキャンセルが出ている。また、今後の修学旅行を中心に、旅行先を九州から他地域への組み換えが始まっており、現地、手配センターを含め本社内でも非常に大変である(東京都)。
		タクシー運転手	来客数の動き	・深夜客の動きがない(東京都)。
企業 動向 関連 (南関東)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・毎年受注する取引先からの特注数量が増えている。会社は、より良くなっている。
		出版・印刷・同関連産業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・印鑑、ゴム印、名刺印刷の仕事をしている。古くからの客で、今年というか今回だけだと思うが、社名変更があり、特需があった。おそらくこれが一番だと思うが、注文が発生してから払う問屋への支払が通常15万円くらいのところ、4月は43万円あり、いつもの月の2.5倍くらいであったので、ゴム印その他に関してはそれだけ売上があったということである(東京都)。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注が計画通り進んでおり、新年度は好スタートできている。同業者は良いところ、悪いところが区別されてきている。
		建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・受注につながる見積が増えている。
		通信業(広報担当)	受注量や販売量の動き	・前年10月以降は、概ね前年同月比を上回る傾向が続いている(東京都)。
		税理士	取引先の様子	・熊本地震の被災者の方々には心からお悔やみ申し上げると共に、早急に復旧されることを心より祈念する。復興のために何ができるかと考え、熊本の物産消費等に当たっている傾向がみえる。地方のホテルの満室状況を見ると、まだ外国からのお金の入りは期待できる。
	変わらない	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・いろいろ動いてはいるが、実売にまでは至らない(東京都)。
		食料品製造業(営業統括)	それ以外	・やはり熊本地震による影響を少なからず受けている。
		出版・印刷・同関連産業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注件数、売上金額共に前年同月実績を3か月間達成できている(東京都)。
		プラスチック製品製造業(経営者)	それ以外	・当社の受注は堅調だが、他社の話を聞くと、決して良いところばかりではないため、ほとんど3か月前と変わっていない。
		金属製品製造業(経営者)	取引先の様子	・年度初めで大型案件は少ないが、前年度に続き忙しい。ただし、価格が安く利益につながらないのが現状である。
		金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量、金額共に前年より下がっているものの、下げ止まっている。この状況が続くのか、上がるのか下がるのかといったところである。
一般機械器具製造業(経営者)		受注量や販売量の動き	・社内の3か月内示を見ても量が増える予定はない。	
その他製造業〔靴〕(経営者)	取引先の様子	・ハンドバッグ製造業だが、新しい型を起こしても極めて順調に推移していることなどから、良いままで変わっていない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		建設業（営業担当）	取引先の様子	・建設単価が上昇しているなかで、取引先は1社との取引をせず、数社で競争することが多くなってきている。しかし、現状の人手不足もあり、業者は多数参加の競争入札を控える傾向が増えており、予算と合わずに不調となる場合がある。
		建設業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・相見積の物件ではまだ仕事量が少ないため、他社が低価格の提示をしてくる。これでは適正利潤が得られない。
		輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・取引関係での価格の決定について、非常に値上げ交渉がしにくい状況に入っており、これが景気の減速につながっているのではないかと。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新年度に入り一部で新たな取引が始まったものの、3月で終了した業務もあるため、全体としては大きな変化はみられない。
		金融業（役員）	取引先の様子	・主要取引先に減産の動きがあることから、新規投資に慎重になっている経営者が多い。消費税増税が影響しているのではないかと。
		不動産業（経営者）	競争相手の様子	・6か月連続で報告の駅から4分の物件が、ようやく満室になったようだが、約1年かかっていた満室である。市役所前の21室の物件は、まだ4室残っている。駅から1分の新築13階建て100戸、25～50平方メートル、1～2LDK賃料79,000～159,000円、管理費8,000～12,000円の物件は、まだ4分の1しか決まっていけない。新築の苦戦は延々と続いている(東京都)。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自社ビルのテナント入居率は変わらず、その多くが飲食店で、来客数などに大きな変化はない。
		不動産業（総務担当）	取引先の様子	・オフィス賃貸収益が当社の事業の中心である。このところ満室状態が続いており、景気は悪くない(東京都)。
		広告代理店（従業員）	取引先の様子	・取引先の特に自動車関連は、売上が上がる要素がない。
		税理士	それ以外	・いつも夜10時過ぎにJR駅まで商店街を歩いて歩いている。代替わりで、店主が変わっている店も結構あり、客が入っていないといけない時間帯なのに、入っていない店が多い(東京都)。
		社会保険労務士	取引先の様子	・資金繰りの厳しい会社が見受けられる(東京都)。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・取引先にあまり変化がない。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・社内で経理処理を行っている中小企業では、3月決算のとりまとめを行う時期である。いろいろと相談を受ける機会も多いが、売上は横ばいの企業が多い。しかし、仕入や原材料費など、もろもろのコスト増で収益性は落ちている。景気が上向いているとは言えない。
		その他サービス業[ビルメンテナンス](経営者)	受注量や販売量の動き	・成約する受注価格は、変わっていない(東京都)。
		その他サービス業[映像制作](経営者)	取引先の様子	・スポーツジムなどは、新年度でも古いプログラムをそのまま使用し、新年度用は制作しないなど、今までにない縮小を行っている(東京都)。
		その他サービス業[情報サービス](従業員)	受注量や販売量の動き	・受注量に特に変化はみられない。
		その他サービス業[ソフト開発](従業員)	受注量や販売量の動き	・売上の状況などから、変わらない。
	やや悪くなっている	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・新年度に入ったが新規事業がみられず、継続事業もなくなったものもあり、状況としては好ましくない。また、同業他社の困窮の話も伝わってきている。展望が望めない状況はここ数年変化していない(東京都)。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	それ以外	・インターネット通販やペーパーレス化の進行により、受注が減少してきている。
		出版・印刷・同関連産業（所長）	受注価格や販売価格の動き	・大型連休前の繁忙を期待していたが、ほとんど動きがなく前年を大きく下回っている。ここまで鈍い状況を想定していなかったため、非常に厳しい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		プラスチック製品製造業（経営者）	取引先の様子	・大手電機メーカーのリストラ策により、売上の4割を占める取引部門が3月末日で閉鎖になり、非常に厳しい状況に追い込まれている。今は落ち込みを最小限抑えるため、なりふり構わず仕事をかき集めている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月は年度初めのためか、毎年この月の受注は少ない。そのうえ、熊本地震の影響で、農協関係の受注に影響が出ている(東京都)。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規発注はほとんどなく、従来から実績のある製品のメンテナンスばかりで、当分新規需要がないので、先がどうなるかみえない(東京都)。
		精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・産業用輸送機械が以前より思わしくないうえに、ここへきて熊本地震の影響で部品のオーダー延期が多くなってきていることが懸念される。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・商品がなかなか売れない。
		建設業（経営者）	それ以外	・積極的な行動とまではいかない。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・新年度より取引先の社内体制が変更となり、大規模な部門の統廃合が実施されている。改善の兆しがみえない経営環境に対応するためとのことで、当社においても現行のさらなる見直しが必要となりそうである(東京都)。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・新年度に入って、鉄鋼メーカー、住宅建材メーカー共にほとんど荷動きがない。生産計画、出荷計画共に前年を下回っている。
		金融業（統括）	取引先の様子	・円高と低金利が変わらず、積極的な投資が見込めないため、資金需要がない。
		金融業（支店長）	取引先の様子	・熊本地震が発生し、いまだ余震が続いていることもあり、先行きに対する不安がある。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・マイナス金利や株価低迷の影響で消費を抑える傾向にあり、小売業や製造業に少しずつ影響が出てきている(東京都)。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・新年度になり、今年度予算の予備費確定情報が聞こえてきたが、取引先の予備費が押しなべて、ほぼゼロである。出入りする他社の業務を奪う以外に売上を増進させる手段がない。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・相談案件数がここ数か月、減少している(東京都)。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・金属加工の中小企業では、今年に入り前年より受注が減少した。取引先が機械製造業のため、設備投資の冷え込み、輸出の減少が響いているようである(東京都)。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	取引先の様子	・公共事業の予算が決まっていないので、交通誘導等の警備業務の受注が減っている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	それ以外	・景気の良い所と悪い所がはっきりしてきている(東京都)。
	悪くなっている	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・新年度に入って、極端に動きが悪くなっている。
雇用関連 (南関東)	良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・前年度1年間で採用数が増加した。今年度は上昇傾向で一般職採用の動きも活発である(東京都)。
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	それ以外	・首都圏の派遣受注は堅調で、それに比例して成約数も確保できている(東京都)。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・直近3か月では、新規求人数は前年同月比で増加した月もあれば、減少した月もあったが、月間有効求人数は常に増加しており、企業の採用意欲は衰えていない(東京都)。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・どの業種も、特に求人は増えていない(東京都)。
		人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・企業からの求人数は堅調に推移しているものの、人材不足の状況は変わらず、採用に苦戦している。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・自身を含めて周囲の消費動向に、変化がない(東京都)。
		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・今月の新規稼働人数は若干増加しているものの、求人数、求職者数は前月より動きが鈍化している。前月の求人数、求職者数の増加の影響とみている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・製造業からのエンジニアの派遣引き合いは常に多く、一部ではネガティブな話も出ているが、全国的にはまだ好調を維持している(東京都)。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・中小企業の設備投資等は補助金を頼りにしており、その状況が継続している(東京都)。
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・新卒採用は小売、サービス全般、不動産関係の中堅企業で内々定が出始めている。6月前の人数確保を急いでいる様子である。企業の採用意欲は高く、今後発生する内定辞退に備えるためであるが、景気の動向にかかわらず、今年度は熱く推移すると思われる(東京都)。
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・需要に力強さが感じられず、製造メーカーでは技術、管理を中心とした中堅人材の求人はあるものの、製造部門増強の求人は弱い。海外製造拠点でも同様な状況で、しばらくは様子見かもしれない(東京都)。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・新卒、中途採用共に今期計画が確定し、活発な採用活動が続いている(東京都)。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・近隣に大型スーパーがオープンし、その時給の高さに他社が広告を出すタイミングをずらしている。
		求人情報誌製作会社（広報担当）	雇用形態の様子	・景気が急激に悪くなっているようには感じないが、前年に比べて売上等が下がり、少しずつ悪くなっている。人件費を抑えるため、人員削減や地方への事業所移転等の話が出ている(東京都)。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・今月は倒産3社、廃業2社、新規が42社で、かなり盛り上がったものの、毎月利用があり4月も結構使う大口取引先2社が、相当減少しており、かなりの打撃である。全体的には一見、すごく増大しているようだが、数字的には、3か月前と比べてもあまり良くない。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・従業員の削減や工場の統合による合理化、店舗閉鎖などを行う企業が増加している。
		職業安定所（職員）	それ以外	・周りの状況に変化が見られない。
	悪くなっている			

### 5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東海)	良くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・東京オリンピックがあるので良くなる。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・かわいいとかおいしいと感じる商品が気に入られ、販売量が増えている。場所によっても販売量が増加している店もあり、全体的に少し良くなっている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・伊勢志摩サミットの効果で、関連商品が良く動いている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・伊勢志摩サミットの報道が増えると、関係する地域を避ける傾向がある。知名度は上がるが、本格的な効果はサミット後となる。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・平日昼間の来客数は変わらないが、夕方になると、会社帰りの新入社員の来店が多くなっている。4月後半は下見客が多く、給与をもらったら買いに来るという声を聞く。客単価は低い、売上はそれなりにある。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・高額品の動きがそこそこ良い。インバウンドも前年から伸びている。
		百貨店（販売担当）	販売量の動き	・来客数の増加により販売量もアップし、売上は前年比110%である。購入点数にも伸びがみられ、購買意欲の高まりを感じる。自家需要の伸びが大きく影響している。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・効果的なキャンペーンにより、客単価、購入点数共に改善している。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・例年4月が良いわけではないが、今月は、全体的に売行きが良い。高い車もたくさん売れて、注文も問い合わせも多い。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般レストラン [パン・カフェ] (経営者)	販売量の動き	・4月に入り新規客が少し増加している。時々週末に宣伝のため店外でのイベント販売を行っており、その時の客が来店につながっている。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・来店予約数が増えている。
		その他飲食 [ワイン輸入] (経営企画担当)	販売量の動き	・必要か不要かを厳しく判断する傾向はあるものの、良い物は売れるという手ごたえがある。
		観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・宿泊に関しては、前年より15～30%の伸びを示している。夕食・昼食は、前年比75～80%と悪くなっている。宿泊客は県外、会食の客は地元なので、地元経済が良くなっていない。
		観光型ホテル (販売担当)	来客数の動き	・4月は、当初想定した来客数より8%ほど伸びている。一般宴会と婚礼宴会も、前年比ではあまり変わらないが、予算比では8%ほど良い。ただし、施設内食堂の利用は相変わらず10%強の落ち込みである。
		旅行代理店 (経営者)	お客様の様子	・店頭客の様子に、少し明るさがみえてきた。
		通信会社 (サービス担当)	販売量の動き	・新年度を迎え、光回線への切替えが増加している。タブレット端末やスマートフォンの利用により、自宅への光回線導入も増加している。
		テーマパーク (職員)	お客様の様子	・インパウンドの団体客が増えている。
		美顔美容室 (経営者)	販売量の動き	・紫外線が強くなってきているのを肌で感じ、ホワイトニングのキャンペーン中ということもあり、UV関係商品が多く出ている。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・期末直前の追い上げや消費税増税に対する客の動きの活発化等、やや良い方向である。マイナス金利も、住宅に関しては後押しする材料になっている。
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・リフォーム、外壁の塗り替えやカーポート増設等の仕事が増えてきた。	
	変わらない	商店街 (代表者)	単価の動き	・今月も客単価が低迷している。ターミナル駅の売店でも、1箱10個入りの商品よりも6個入りの商品が売れている。来客数は、ほぼ横ばいである。
		商店街 (代表者)	お客様の様子	・節約志向が強い。
		一般小売店 [薬局] (経営者)	来客数の動き	・現状は非常に悪い状況が続いている。ファッション店の店長も、理由はわからないが悪いようである。年金支給日があったので、多少は来客数も増えたように感じたが、ここ1週間は悪い状態に戻っている。飲食店、居酒屋やスーパーの食品売場は、春になって忙しいように見受けられる。
		一般小売店 [生花] (経営者)	お客様の様子	・景気が良くなっているとは思えない。高額商品を購入する客もいるが、大半の客は、財布のひもが依然固い。花束等も税込みでいくらまでという注文が時々ある。
		一般小売店 [書店] (営業担当)	販売量の動き	・新年度の受注が増加しており、販売量も増えていると感じる。
		百貨店 (販売担当)	お客様の様子	・ギフト用の購入は多かったが、自家需要はやや少なかった。
		スーパー (経営者)	お客様の様子	・4月の景気も良くななく、一般市民は節約志向である。景気が良くないため、できるだけお買得な商品の購入に徹している。何年も出店していたテナントが退店し、次のテナントが入るまで非常に時間がかかる。特にここに来て中小企業は出店する力がなくなっている。大手企業のテナントしか入らないため、今までよりも賃料を安くしないと入ってもらえない。
		スーパー (店長)	単価の動き	・客単価は若干増加している。購入点数はほぼ前年並みなので、1品単価が上がった分だけ客単価は上昇している。
		スーパー (店員)	来客数の動き	・3か月前と来客数は変わらない。新年度ということで、客の購入点数は若干増えている。
スーパー (販売促進担当)		販売量の動き	・売上は前年比100%をクリアし、来客数も徐々に回復している。衣料品は気候のためか前年割れだが、食品で全体をカバーしている。	
スーパー (販売担当)	お客様の様子	・客の動きがあまり変わらない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（企画・経営担当）	販売量の動き	・販売量の増減は感じないが、気温が上がり、刺身や焼き肉用の商品が動くようになっている。しかし、購入点数には変化がない。
		スーパー（人事担当）	来客数の動き	・春闘は終わったが、客の動きはまだ変化はない。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・商品の入荷量は、3か月前と同程度である。
		コンビニ（企画担当）	競争相手の様子	・競争企業の状況は、全体的に堅調である。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が相変わらず前年割れで、なかなか回復しない。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・客の購買意欲に変化はなく、おう盛とは感じられない。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・4月になって新しい人の動きや様子もみられるが、消費には影響を与えていない。来客数は増加せず、売上も横ばいが続いている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・4月になってようやく来店した客が多い。なじみ客に限っては、買い控えの様子は無い。販売量は前年並みだが、全体的に商品単価が低くなっているため、売上は前年より悪い。
		衣料品専門店【紳士服洋品】（売場担当）	競争相手の様子	・当社の店舗だけでなく、アパレル業界自体が厳しいと聞いている。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・熊本地震の影響から、新車の納車の遅れが生じたり、当地方でも地震に対する漠然とした不安があり、消費を伸ばすような要因は見当たらない。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・熊本地震等、マイナスの話が多いので、伊勢志摩サミットに関しては全く盛り上がりおらず、景気は良くない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・足元では特に大きな変化はなく、前月からの判断も変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・店舗での新車販売台数が、目標台数も前年実績も大幅に下回っており、会社全体でも大幅に減少している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・4月に新型車種が発売されたが、過去の発売時のような受注量を確保できない。客からは価格に対して不満の声が聞かれる。客からの支持を集める車種はなかなか納車できず、今度の車種は、納期にある程度見通しが立ち客も手軽に購入を考えられると期待していたが、市場の反応はなかなか厳しい。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・新築、持家住宅及び分譲マンションが増えない。ただ、住宅及び商業施設等のリフォーム工事や改装工事、民間企業及び公共工事の大規模改修は増えている。
		その他専門店【雑貨】（店員）	お客様の様子	・消費マインドは横ばいである。客の声からも熊本地震の影響があるように感じられる。
		その他専門店【書籍】（店員）	来客数の動き	・新入学シーズンで関連商品の売上は好調だが、その他の書籍の売上が下がったため、売上増加にまではつながらない。
		その他専門店【貴金属】（営業担当）	販売量の動き	・販売量は前月と変わらない。高額商品も売れていれば安い単価の物も売れており、全体に販売量は変わらない。ただし来客数は減ってきている。
		その他小売【ショッピングセンター】（経理担当）	販売量の動き	・売上高は前年比2.3%のプラス、来客数は前年比8.3%のマイナスが続いている。
		高級レストラン（役員）	来客数の動き	・例年、歓送迎会等の需要が見込まれる時期であるが、ほぼ前年並みとなっている。
		その他飲食【仕出し】（経営者）	販売量の動き	・景気が良くなったとか給与が上がる等といった報道が、マスコミでも一切なくなり、雰囲気も重苦しくなっている。
		都市型ホテル（支配人）	販売量の動き	・宿泊部門は、出張客も外国人頼みである。宴会部門は、依然弱く、レストランの客価格が低い。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・夏休みに向けては、家族旅行の問い合わせも多く好調である。ゴールデンウィークの直前予約が、熊本地震もあって期待できなかった分、夏休み客を早期に取り込みたい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・今年のゴールデンウィークは、海外旅行の渡航者が2.8%増加し、国内旅行は微増である。数字的にはいい方向に進んでいるが、熊本地震で九州方面やテロの影響のある欧州は減少している。国内需要が予想したほど伸びてないことが、不安要素である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・相変わらず、夜の繁華街は入客が少ない。3か月から半年ほど前と比べても少なくなっている。乗車客は少ないが、単価が上がってきているので、売上は変わらない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・前月と変わらず、低迷が続いている。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・前月は過去最高の契約数となり、4月もほぼ同じペースである。しかし、契約内容をみると明らかに低価格化が進んでおり、景気は決して良いとはいえない状況である。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・前年同月比で客の動きが少ない。景気が悪くなったままで変わっていない。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・全体的に、NGN（次世代ネットワーク）の増加が落ち着いてきた。当面は、現状程度の増加が続くと見込まれる。
		観光名所（案内係）	お客様の様子	・客足はやや戻ってきたが、財布のひもが固いので、景気が良くなっているとはとても思えない。
		その他レジャー [スポーツレジャー紙]（広告担当）	単価の動き	・熊本地震の影響も、ないとは言いきれない。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客の話を聞いていると、連休中に出かける人が少ない。
		その他サービス [介護サービス]（職員）	競争相手の様子	・利用者数は横ばいである。しかし、病気で入院する利用者が増えたため、入院の間は収益が低下する。
		その他サービス [介護サービス]（職員）	単価の動き	・気候が良くなり、車いす等の移動系用具のレンタル出荷が増加している。単価が下落傾向なので、なかなか利益増加には寄与しない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・大きな動きもなく、横ばい状態である。
		その他住宅 [不動産賃貸及び売買]（経営者）	来客数の動き	・消費税再増税前の駆け込み需要を期待しているが、客にはそれほど危機感がないようで、客足も変わっていない。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・ここ数か月、日曜日や祭日の売上が落ちており、非常に気掛かりである。
		一般小売店 [高級精肉]（企画担当）	販売量の動き	・熊本地震や消費税の再増税等、良い材料がない。
		一般小売店 [結納品]（経営者）	販売量の動き	・個人消費の停滞は非常に厳しい。
		一般小売店 [贈答品]（経営者）	お客様の様子	・4月は新年度のスタートであるが、客の財布のひもは非常に固くなっている。企業でも新年度の予算がついているにもかかわらず、経費を使わない。必要な物には使うが、ギフトに関しては、支出を抑えていると感じる。
		百貨店（経理担当）	お客様の様子	・熊本地震に伴う自粛ムードが漂い、消費者には買物や外出を控えているように感じる。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・衣料品の動きは相変わらず鈍く、宝石等の高級雑貨についても失速している。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・良い商品も一部あるが、全体的に良くない。
		百貨店（販売担当）	販売量の動き	・前年から続く衣料品部門の不振が更に顕著となっている。熊本地震が消費のムードに更に水を差す形になっており、好材料がない。
		百貨店（販売担当）	来客数の動き	・一般的な客層の客単価が下がってきている。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・中小の小売店は、来客数、売上共に悪い。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・売上高は前年同期を上回っているが、来客数の伸びが、前月よりも鈍化している。
		スーパー（店員）	単価の動き	・熊本地震の心理的な影響は小さくなく、客には買い控えが見受けられる。質素な食事で済ませたり、買物は必要な物だけで充分といった雰囲気を感じる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価、購入量共に減少している。
		スーパー（営業企画）	お客様の様子	・新年度となる春先は、例年なら消費にも活気があるが、今年は静かである。来客数、客単価共にわずかではあるが低下傾向で、景気の先行き不透明感に加え、熊本地震が心理的に影響し、消費者を生活防衛に走らせている。
		コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・前年実績を下回る店舗が出始めている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・前年実績割れの原因として、これまでの単価の低下に加えて、来客数も前年を割っている。
		衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・商品の総量が減少する中、加工所も減少している。製品の入荷が減り、販売量も減少している。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・来客数が減少している。客単価は上がっているが、全体としては悪い。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・消費税増税の行方がわからなくなっており、必要な物以外は購入しない状況である。消費意欲がおう盛な人や富裕層は、依然として購入しているが、金銭的に余裕のない客層は、消費を抑えている。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・新車を見に来る客の来店が減少傾向にある。新型車種は出たが、今一つ盛り上がらない。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・建設関係の法人の買換えは例年よりも多いが、個人客の冷え込みが顕著で、前年の7割ほどで推移している。工場への在庫台数も9割程度で、少しずつ悪化している。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・大手企業に勤めている客は、そこそこ羽振りも良いが、ブルーカラーの客層は、相変わらず注文数等も多くない。
		一般レストラン（従業員）	販売量の動き	・新年度に入って急激に注文数が減っている。
		都市型ホテル（経営者）	お客様の様子	・予約のリードタイムが短くなっている。また、予約数が減少してきている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・年度末を過ぎても客の動きは悪く、前年よりも低調である。問い合わせや見積依頼はあるものの、全体的に件数が少ない。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・タクシーや飲食店では、曜日や店によってかなり差が出ている。需要を喚起するには、より一層の規制緩和が必要である。好調なのが外国人観光客ばかりでは、いつかは失速もあり得る。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・ゴールデンウィークを前に、熊本地震で九州方面の客の取消しが相次ぎ、4月の数字は思わしくない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・熊本地震の影響があり、直接関係のない当地でも自粛ムードで、特に夜間の客が少なくなっている。
		ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・ゴルフシーズンとなったが、来客数は予算より大幅に低く、売上も大幅に予算を割っている。月末にはゴールデンウィークに入るが、ばん回するのは難しい。
		パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数や単価の動きがやや悪くなっている。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・客があまり来ない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・4月半ばまではとても忙しかったが、後半は客足が悪い。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・当地には人口流失という大きな問題がある。景気自体も良くない。
		設計事務所（職員）	お客様の様子	・景気の良い話は聞かない。
		設計事務所（職員）	お客様の様子	・銀行の融資が厳しかった時期と比べれば、客の様子や改修・改装工事、新築等の建築物の動きは良い。しかし、返済のことを考え、目一杯ではなく余裕のある範囲で行っている。これが普通であり、景気が良かった時と同じような活気を追い求めてはいけない。景気は、このまま横ばいか下がる方向である。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	単価の動き	・公共工事の入札が始まるが、仕事の件数は例年より少なく、奪い合いとなり利益が確保できない。まだまだ厳しい状態である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・客は購入する際に非常に慎重である。すぐには決めないで再度検討し、価格比較等をしてからというケースが多い。いったん冷静になるので、商談がまとまる割合も下がり、売上ダウンにもつながってくる。特に今月はよく見受ける。
		一般小売店〔電気屋〕（経営者）	販売量の動き	・節約志向が続いているのか、壊れないと買換えない傾向が、ここ2～3か月は特に顕著に表れている。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・全国トップシェアのビールの販売量が、取引先のほぼ全店で、前年同期よりも減少している。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・例年は暖かくなるにつれて売上も上がってくるが、天候のためか、1日当たりの売上は、3月より4月の方が低くなっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・金の使い道を決め、必要以外の出費はなるべく抑える傾向がみられる。連休の出費に備え、節約ムードである。
		理容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客は余分な金は支出しない。景気の良い話も出ない。
		住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・他業者でも、広告を出しても売れないようで、良質かつ単価の安い物件しか売れない。
企業 動向 関連  (東海)	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		食料品製造業（経営企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・主力商品の価格を改定したが、今のところ順調な受注である。最盛期に向けて、プロモーションの充実を図っていく。
	変わらない	行政書士	受注量や販売量の動き	・出荷量、受注件数が増えている。
		食料品製造業（営業担当）	取引先の様子	・景気は下げ止まりと感じている。決して良くなっておらず、明るい話題等も取引先からは全く聞こえてこないが、更に厳しくなったという話も聞かない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前に比べても、受注量、販売量共に、あまり変化がない。このままの状況が続く。
		化学工業（総務秘書）	それ以外	・景気に大きなインパクトを与えるトピックがない。今春の昇給は前年より抑え気味で決着し、景気や消費マインドへの影響はほとんどない。熊本地震が関心のほとんどである。
		化学工業（人事担当）	受注価格や販売価格の動き	・スーパー等で売られている商品の値段は、横ばいや下降気味で、デフレ状態を脱していない。
		窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・受注量は安定しており、人員を増やしているが、休日出勤は続いている。
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・前年に比べて、プロジェクトの動きが停滞しているようである。夏ごろまでの仕事は少ないと実感する。業界内でもそういう声が多い。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・製品輸出については、好調な地域と不調な地域があり、全体としては横ばいとなっている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・為替の動きが気になるが、今のところ影響はあまり出ていない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここ半年、売上は完全に横ばい状態である。特殊な製品が増える環境でもなく、全体的に市場は低位安定が続いている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・ケーブルテレビ加入者の維持や拡大に向けた設備投資は行われているが、加入者はほぼ飽和状態であり、小口の投資にとどまっている。設備投資向けの納入価格や工事価格は大口発注時のままで、納入業者にとってスケールメリットはなく、利益水準は低迷したままである。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・取引先の生産スケジュールは、増加傾向が続いている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末は、マンション、戸建共にまずまずの売行きであったが、年度末を過ぎてからは客足が鈍化している。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・輸出入物量、国内物量共に、前年並みを維持している。
輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・年明けから運賃単価の伸びが弱い。3か月前と比べても横ばいである。運賃の据置きが目立ってきており、景気は停滞気味である。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
		通信会社（法人営業担当）	それ以外	・ガソリンや電気代等の値下げで消費者物価指数は前年同月比で0.3%下落している。日銀は現状の金融政策を持続する。		
		金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車産業を中心に話を聞くと、大きな変化はなく、生産量も例年どおりとのことである。		
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・株価は上がらず、為替も円高傾向にあることから、個人投資家の資産は含み損も多く、様子見が多い。		
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・地方の中小零細企業向けの不動産等には、価格高騰はみられないが、物件の少なさを顕著に感じる。		
		不動産業（用地仕入）	受注価格や販売価格の動き	・マンションの販売価格には、大きな変化はない。		
		企業広告制作業（経営者）	それ以外	・参議院選挙を前に、景気を刺激する要因が見当たらない。求人倍率は上がっているが、非正規雇用の多さは、景気の底上げにブレーキをかけている。		
		公認会計士	それ以外	・客先の業績は改善していない。地域金融機関の貸出先の業績は回復していない。		
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・物価上昇の影響が消費者へ波及している。消費の活発化はみられない。食品、衣料、飲食等、消費者向けの販売業では低迷が続いている。		
		会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・売上、利益共に伸びている顧問が多いが、いつまでこの状態が続くか、不安に思っている様子が見える。		
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	取引先の様子	・前年同月には公示があった入札案件が延滞している。コスト削減なのか予算不足なのかは不明である。		
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	競争相手の様子	・熊本地震のためか、為替は予想よりも円安方向に振れている。競合先ではまずまずの好調が続いているようである。世の中全体では、まだ模様を感じがする。		
		やや悪くなっている		出版・印刷・関連産業（代表）	受注量や販売量の動き	・集客を目的とした企画提案に対して、広告主の反応は非常に厳しくなってきた。出稿が決まっても、料金水準がかなり落ちており、とても前年並みとはいかない。
				鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・素材価格の下落が続き、前年同月比で2割ほど下落している。足元の需要の少なさと重なり、売上額、引き合い共に、2割ほど落ち込んでいる。
				金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が低調である。足元の引き合いも減少している。
一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き			・期初のためか、自動車向け設備の引き合いがほとんどない。たまにある引き合いも、かなり先の計画ばかりで受注にはまだ結び付かない。		
輸送用機械器具製造業（研修担当）	受注量や販売量の動き			・熊本地震で自動車部品メーカーが停止したこともあり、当社の加工量も減っている。		
輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き			・熊本地震の影響で、完成車メーカーの生産台数が減っている。		
輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き			・年度初めの4月は、例年は荷動きが活発な月であるが、熊本地震により国内のムードが下がっていることもあり、荷動きは低調に感じられる。		
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き			・貨物の荷動きが前年同期の98.5%と、悪くなっている。		
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き			・円高で輸出が伸び悩んでいる。		
通信会社（法人営業担当）	取引先の様子			・熊本地震への対応が長引いており、各企業とも慌ただしく、新しい消費や投資の実施には至っていない。行政には、地震対策のためと提案しても、聞く耳を持たない。		
金融業（法人営業担当）	取引先の様子			・熊本地震に伴う部品の供給不足から、地元の自動車メーカーの生産が一時的に停止し、取引先の自動車部品メーカーの生産も減少している。		
広告代理店（制作担当）	取引先の様子			・今までは定期的に広告の発注があったが、最近は様子を見る広告主が増えてきており、全体的に厳しい状況になっている。		
悪くなっている						
雇用関連	良くなっている	-	-	-		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
(東海)	やや良くなっている	人材派遣会社(支店長)	採用者数の動き	・常用雇用派遣労働者の採用者数は、緩やかな増加傾向で、3か月前と比べて104%と、6か月連続で増加している。
		民間職業紹介機関(窓口担当)	求職者数の動き	・前月同様に求職者数には大きな変動がない。登録者も就業経験が浅い若年層がブランクがある高齢層に集中しており、人員不足を感じる。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	求人数の動き	・新入社員等の歓迎会等、法人関係の利用が好調である。
		人材派遣会社(社員)	求職者数の動き	・企業の正社員採用の動きが活発で、相変わらず求職者不足が続いている。
		人材派遣会社(営業担当)	それ以外	・株価が横ばいで推移している。
		アウトソーシング企業(エリア担当)	周辺企業の様子	・鉄鋼事業所の事故で2月に自動車生産ラインが停止した影響が、今も残っている。
		新聞社[求人広告](営業担当)	周辺企業の様子	・有効求人倍率は高いが、仕事と人材のマッチングがうまくいかず空回りしている印象である。人手不足は一向に解消されず、その影響が通常の営業活動や業務拡大にも影を落としている。
		職業安定所(所長)	求人数の動き	・足元の新規求人数は、前年同月比で2割程度増えている。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は6か月連続で前年同月を上回っているが、人手不足が厳しい建設、介護、サービスが中心である。前年同期と比べると新規事業関係の求人が少ない。
		民間職業紹介機関(営業担当)	それ以外	・自動車や電機大手メーカーからの転職希望者が今後増える可能性があり、人材の流動性は更に高まる。
やや悪くなっている	新聞社[求人広告](営業担当)	求人数の動き	周辺企業の様子	・半年くらい前から、あまり変化がないように感じる。
				・新年度に入り、求人は控え気味の状況である。熊本地震の影響も、徐々に広がりつつある。
悪くなっている	-	-	-	-

## 6. 北陸(地域別調査機関:一般財団法人北陸経済研究所)

(- :回答が存在しない、 :主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (北陸)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	スーパー(店舗管理)	来客数の動き	・天候の影響で客足の分散が懸念されたが、来客数が前年を上回っている。さらに、買上件数も追従しており、売上を押し上げている。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・来客数、客単価共に前年をやや上回った状態で好調に推移している。たばこの値上げが4月上旬からあり、たばこについては3月の売上は前年同月を超えていたが、4月に関しても前年割れになることなく、やや超えるぐらいで推移しており、値上げの影響はなかった。特にファストフードや、携帯やゲームなどのカードの売上は好調に推移している。
	悪くなっている	コンビニ(店長)	競争相手の様子	・近くの競合店舗が閉鎖したため、前年比で20%程度伸びている。その他、来月に10キロ圏内で1店舗閉鎖する模様である。淘汰されたというよりも、契約の節目で継続が経営上困難なための閉鎖であると常連客などから聞いた。それ以外に売上の上昇理由は今のところ見当たらない。
		乗用車販売店(経理担当)	販売量の動き	・4月の販売量は前年同月比115%の見込みである。28年1月の販売量は前年同月比100%だったので、3か月前と比較して上向きである。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・4月初めは暇な日も続いたが、その後は客の流れもなんとなくいつもどおりといった日々が続き、新しい客もあつたため前年同月を少し上回った売上となり安心したところである。ただ、客の中には少しずつ厳しさが出てきているという会話がある。
	旅行代理店(所長)	販売量の動き	・新年度に入り取扱件数に動きがみられる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		タクシー運転手	来客数の動き	・新年度に入り、気候も良くなってきているので、観光客が増えてきている。特に外国人の観光客が増えている。
		通信会社（職員）	販売量の動き	・引越しシーズンもあったが、契約獲得数が予想以上に増えた。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・前月以降、新規契約獲得件数が前年度比3割程度増加している。光回線サービスを前年度末までに全営業エリアで提供開始した効果が大きいと考えている。
		競輪場（職員）	来客数の動き	・1月の1日平均入場人数が1,673人、1人当たりの購入単価が19,800円であった。4月の1日平均入場人数が1,704人、1人当たりの購入単価が19,900円である。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注は、年明けから先月まで順調に伸びていたにもかかわらず、目標に対し未達であり、前年同月実績に比べても減少した。消費税増税について、先行きの見通しが読めない状況が影響したかも知れない。ただし、通期では前年比で増加している。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・大きな変化はない。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	販売量の動き	・入学式や入社式などがあり、関連物品の購入や整備の動きが例年より微増しているが、薄利である。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・天候の不順や熊本地震の影響もあるのか、買物動向をみてもあまり多くを購入するような様子ではない。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・スーパーマーケットやドラッグストア、ディスカウントストアといった競合店の出店が続く、地区により価格競争が激化している状況である。全店ベースでも1人当たり買上点数が減少基調であるが、現在の影響度はわずかなことから横ばいとする。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上は若干上昇しているものの、あくまでも季節的な伸びの範囲であり、前年比をみると全く変わっていないと考える。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・2～3月は例年に比べて悪かったが、4月は一転して順調である。例年との違いとしては、新しく就職したとか就職活動中であるとかいう客が少し増えている気がする。必要なものにはお金を使うが、我慢するところは我慢するというのではないだろうか。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・来客数は減ってきているが、商品単価は上がっているため売上は変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車、中古車の販売はそこそこではあるが、整備、車検、点検などに関しては、当初の計画を大きく下回っている。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・3月に鋼材メーカーの爆発事故に起因する配車遅れで販売できなかった分が4月以降に回ってきたので、受注はかなり前年比増加の水準だが販売には結び付いていない。
		自動車備品販売店（役員）	お客様の様子	・タイヤ履き替え需要期が例年より長引いており、新品への入れ替えも多かったが、出来る限り交換したくないと言う客と、せっかく購入するならばと中間層の商品を選ぶ客に分かれている。また、車販売は4月に入っても好調に推移している。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・4月は、前年に比べて大型の団体予約が3本なくなり、売上は前年比10%程度落ちている。ただ、北陸新幹線開業前の一昨年と比べると上回っている。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年比で総売上123%、宿泊人数109%、宿泊単価115%であった。14名以下の個人客が64%を占め、個人客の宿泊単価が前年比2,800円アップしたことが、前年売上を上回った大きな要因である。
		都市型ホテル（役員）	販売量の動き	・宿泊部門は、昨年に北陸新幹線開業があったので本年は観光客、ビジネス客の減少を危惧していたが、インパウンドも含めて前年と同様の動きである。レストラン部門は個人および法人が力強く回復しているというまでには至らないが、前年と同じように推移している。
		旅行代理店（支店長）	単価の動き	・客の希望単価は上がっていない。
		タクシー運転手	販売量の動き	・全体的に静かに落ち着いているが、時間帯でホテルのチェックアウトの出発時が結構忙しい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
やや悪くなっている		テーマパーク（役員）	来客数の動き	・国内旅行については団体客、個人客とも前年同月比で比較するとやや良い状況にあるが、海外からのインバウンド客は地元の航空路線の減便の影響もありやや減少しており、トータルとしては横ばいに推移している。
		その他レジャー施設（総支配人）	来客数の動き	・入会者数と退会者数がほぼ均衡しているが、若干プラスというのが現状である。本来は、春先からの伸びがもっと欲しいところではあるが、先行きは不透明である。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少を単価アップで補っている。美容業界全体では、今年に入ってから売上が前年割れをしている店が多いようである。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・問い合わせやイベント来場は、継続的に一定数ある状況が続いている。しかし、消費税の増税時期が不透明になってきたことや、金利も上昇する雰囲気になくなってきたことで、客の動きがゆっくりとなり、結論をなかなか出さなくなってきた。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・マイナス金利、消費税率アップと、客を刺激する要因は多いが、契約には結びついてはいない。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・前回と比べ大きな変化もみられず、展示会場の来場者数にも変化がみられない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・駅前にはバスターミナルと電車停留所が移動になり、交通結節機能の強化によって集客率の向上が期待されたが、逆に車での通行が阻害され、その影響で商店街への来客数が減り、各商店の売上も来客数も減少している。机上の空論で終わりはしないか、今後が非常に心配だ。
			販売量の動き	・当商店街では再開発工事が行われており、店舗数も減少し通行人も若干減少しているため、魅力が落ちていくように思える。このため、当商店街の経済状況は若干悪くなった。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・地元のリピーター客の来店回数が減ってきている。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	販売量の動き	・さすがに北陸新幹線開業から丸1年経過すると、昨年の印象が強すぎるからかトーンダウンは否めない。特に昨年の今頃は各地で北陸フェアや石川に関するイベントが数多くあったので、その分の減少はいかんともしがたい。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	販売量の動き	・例年、4月は文具の販売のピークだが、今年の4月後半は思いのほか伸びなかった。来客数も減り、販売数も悪かった。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・中間層は消費にシビアであり、可処分所得が増えない中で生活防衛意識は依然強く、必要最小限以外のものに関する購買はより慎重になっている。また、円高、株安の影響で、富裕層を中心とした高額品の販売も鈍く、厳しい状況が続いている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・例年4月はゴールデンウィークに向けた旅行関連の消費が大変多いのだが、今年は株価の低迷や熊本地震があり、消費に対して今一つ消極的になっている。特に旅行関係の商材の落ち込みが激しいという状態である。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・天候不順や熊本地震の影響で地元客の来客数が低下している。去年は北陸新幹線が開業し、4月は観光客が多く、地元客も旅行用に衣料品やバッグなどの購入が多かったが、今年はそれらの動きが悪い。観光客は多いが、買い回りにつながっていない。
スーパー（総務担当）	お客様の様子	・食品部門では、前月同様に来客数が前年割れの状況が続いている。しかし衣料品部門では気温上昇のため、連休を前にして初夏物の売行きが良くなっている。		
コンビニ（店舗管理）	それ以外	・売上自体は前年並みであるものの、パートやアルバイトの人件費が高騰している。また、募集コストも上昇し、利益を圧迫している。		
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・実質賃金が下がっている状況で、消費は非常に敏感に変化する。国内外の経済の悪化や熊本地震などにより、消費者は年間を通して常にディフェンシブにならざるを得ない。		
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・依然として悪循環が収まらず、売上の低下が続いている。当社だけではなくファッション衣料全体が苦戦している。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		乗用車販売店 (経営者)	来客数の動き	・4月に入って週末のイベントにも来場者数が極端に少なくなっている。新車、中古車とも受注が良くない。	
		その他小売 [ショッピング センター]	来客数の動き	・春需要を期待したフォーマル、スーツなど高額品需要が弱かった。春休み期間中は前年並みまで需要が戻ったが、衣料、住まいの品、食料品を合わせると、来客数は2%ほど悪かった。しかし、買上点数は前年並みで、買上単価は昨年から前年を上回る状態が続いている。	
		その他小売 [ショッピング センター](統 括)	来客数の動き	・買上率、客単価などをみると客の購買意欲自体は大きく変わっていないようにみられるが、昨年度からの金沢駅前含め周辺競合環境の影響により来客数の減少がみられる。特に昨年度に自店で実施したりリニューアルで、入替えが多かった業種のアパレルや飲食店の影響によるものが大きい。	
		高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・暖冬により桜の開花が例年より早く、春休み後の集客が全く振るわなかった。	
		一般レストラン (統括)	来客数の動き	・3月後半から北陸新幹線効果が少し弱くなった感覚はあったが、それ以上に地元客の来店頻度の減り方が目立ち、数字に表れるようになってきた。	
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・北陸新幹線が開業して1年が経ち、昨年の盛り上がり比べてどれくらい悪くなるかと心配したが、宿泊部門はやや減少でとどまりそうである。宴会部門は、昨年の盛り上がりの反動で減少したことに加え、熊本地震による自粛で直前キャンセルが3件あった。レストランも引き続き地元客離れが続いている。	
		通信会社(店舗 統括)	来客数の動き	・来客数が2割ほど減っている状況が続いている。	
		通信会社(役 員)	販売量の動き	・携帯電話ショップへの国による指導の影響によって、インターネットサービスの問い合わせ数、契約数が減っている。	
		悪く なっている	その他専門店 [酒](経営 者)	販売量の動き	・とにかく今月はさっぱりである。ちょっと記憶にないくらい暇である。来月はゴールデンウィークということでお金を他のところに使い、酒などにはあまりお金を使わないため売上が少ない時期がやってくる。
			通信会社(営業 担当)	販売量の動き	・そもそもの1台目の購入需要に対して、販売が伸び悩んでいる。プラス1台の購入の決定率も低下しており、家族購入も減っている。
企業 動向 関連 (北陸)	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	一般機械器具製 造業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・国内と北米市場の受注が伸びてきている。	
		不動産業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・現在、個人客からの問い合わせが増えてきており、契約成立につながっている物件が、この4月は増加している。	
		司法書士	取引先の様子	・北陸新幹線の用地買収によって長期借入金の返済をすることができたり、これまで誰も買い手がなかった郊外の工場跡地が北陸新幹線工事関係会社に買い取ってもらえたなど、北陸新幹線工事絡みの仕事が増えた。	
		税理士(所長)	取引先の様子	・最近2~3か月の状況を見ると、私の接する中小企業関係の会社はそれほど悪くないという状況である。官公庁からの発注もしくは、建設工事ではないが医薬品関係の影響で、設備投資も比較的活発であった。最近までは取引先の社長の様子からも順調な様子が見られる。	
	変わらない	繊維工業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・国内市場は相変わらず不安定だが、スポーツ用途などの輸出でなんとか受注を確保している状況である。	
		繊維工業(経営 者)	取引先の様子	・業界全体の動きをみていると、二極化が進んでいるような状況である。	
		精密機械器具製 造業(役員)	取引先の様子	・国内の得意先の店頭での様子は、依然として厳しいままの状況が続いているようで、休日の小売店の売上もさほど伸びていないと聞いている。また大手小売りチェーン店も、引き続き在庫調整で仕入を抑えているところが多いようだ。	
		建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・2月は少雪のため除雪作業に終われることもなく、3月の年度末工事の完成に向けて作業に追われていたが、現在はそれほど多忙感もない。これは例年のことであり、悪くなったとは考えていない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・荷物量が増えていない。軽油価格も下げ止まり、厳しい状況が増えていく。 ・ゴールデンウィーク商戦の広告チラシの出稿は昨年より良かったが、ここから上向きになるとは思えない。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注価格や販売価格の動き	
	やや悪くなっている	食料品製造業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・売れ筋の商品群の価格帯が少し下がってきている。販売単価だけでなく、数量も減少傾向にある。 ・特に当地域では、受注価格競争が一段と激化しており、受注環境が大幅に悪化してきた。 ・中国の景気の悪化に伴い、輸出関連の荷動きが悪くなっている。 ・マイナス金利政策の影響で金融機関の収益環境が劇的に悪化する一方で、資金調達環境が良いからといって、根本的な資金需要が発生しているわけではない。単に肩代わりや借換需要が発生しているだけである。 ・昨年の北陸新幹線開業で、新たな需要が喚起されて景気がよくなったとの声が多数あった。しかし1年経ち、観光業界も昨年の勢いはなくなった様子である。建設業界も公共工事が減少して、売上は下振れしている。
		建設業（役員）	受注価格や販売価格の動き	
		輸送業（配車担当）	取引先の様子	
		金融業（融資担当）	受注価格や販売価格の動き	
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連 (北陸)	良く なっている	-	-	-
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（役員）	求人数の動き	・4月の求人広告売上は、前年同月とほぼ同じである。 ・有効求人倍率は1.65倍で、前年同月より0.1ポイント上昇している。また、73か月連続で前年同月比を上回っている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	
	変わらない	人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・派遣登録者数が激減している。企業からの求人に対応できない。 ・高額時給の求人広告掲載や応募者は増えたが、マッチング率は低かった。 ・発行1回あたりの求人掲載件数があまり変わっていない。 ・求人広告件数は前年同月比で6割程度と落ち続けている。特に落ちているのは高額枠の数で、昨年の3割程度と特に落ち込んでいる。お金をかけてでも人数をかき集めるといった状況は過ぎて、充足率を見ながらの出稿を行っているようだ。市況についても、その面では大きな変化までは起こらないと考える。 ・有効求人倍率は、ここ4か月間、ほぼ同水準となっている。 ・一部の事業所は良くなっているとの声も聞かれるが、仕事量に対して利益がないとの声も多いため、全体として変わらない。 ・求人数は横ばいが続く。一方で求職者は増加しているが、高齢化で成立が難しくなっている。 ・就職活動が解禁されてから2か月が経ち、求人票を出してくる企業数はピークを過ぎたように思うが、製造業やIT関連企業を中心にまだ手堅く出てきている。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	
		求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-

## 7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (近畿)	良く なっている	-	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・3月中旬に近隣に大型ショッピングモールが開店し、商店街の来客数が減っていたが、1か月が経過して客が戻ってきている。 ・年度末から新年度にかけて、商品の動きは良い。ただし、週末になると客で混雑しているコーナーと、閑散としているところの差を感じる。
一般小売店〔事務用品〕（経営者）		販売量の動き		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・商品の幅を広げ、更に単品での在庫管理を行うことで、客の選ぶ楽しさや、新メニューの提案などを行っている結果、販売点数は前年を上回っている。		
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・イトインコーナーを利用する客が増え、ファーストフードや弁当類の販売が増加傾向にある。		
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・飲料がかなり売れ出している。		
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	販売量の動き	・受注や問い合わせを含め、受電が全く追いつかない状態である。		
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・暖かくなるにつれて、人の動きが良くなってきている。		
		高級レストラン（企画）	来客数の動き	・ツアーを中心とした、インバウンドの団体客による催行率が高く、3か月前と比較しても勢いが弱まっていない。		
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・波はまだまだあるものの、平日の団体による宴会や小規模パーティーの来客数が少しずつ伸びてきている。前年と比べても明らかに伸びており、特別に安く売ったり、クーポンを配布しなくても、客は自分のニーズに合った店選びをしていることから、景気は少し回復していると感じる。		
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・花見シーズンでもあり、インバウンドを中心に好調な宿泊が続いている。客室稼働率は限界まで上がっており、単価アップによって収入が増え、前年比で110%の推移となっている。それに伴い、朝食需要も大幅に増加しているが、宴会収入は前年並みで好調とは言い難い。		
		タクシー運転手	お客様の様子	・京都は修学旅行生が多く、毎日貸切りで回っているが、流し営業での利用は横ばいである。		
		美容室（店員）	販売量の動き	・気温が上がって髪型を変える客が増え、単価が上がってきている。		
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・新年度に入る前の住宅売買が、予想よりも多くなっている。		
		住宅販売会社（総務担当）	販売量の動き	・例年は各社の決算期に伴って競合が激化するが、今年の受注は前年を上回っている。		
		変わらない		商店街（代表者）	単価の動き	・客単価が下がってきている。特に、単品買いが増えている。
				一般小売店〔衣服〕（経営者）	お客様の様子	・4月の商店街各店の状況は、3月の低迷に比べると若干盛り返してきたが、前年を上回るには至らず、前年の98～100%で終了した様子である。また、大阪の中心地から離れているにもかかわらず、中国からの客が桜見物などで前年よりも増えている。
一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	お客様の様子			・卸売、小売共に、客の財布のひもが固い。インバウンドも一時の勢いが落ち着いた状況である。		
一般小売店〔衣服〕（経営者）	販売量の動き			・近年は従来よりも春らしい季節が短いせいも、春物の動きが悪い。もう少し暑くなり夏物が動くまでには、まだ時間がかかる。		
一般小売店〔野菜〕（店長）	お客様の様子			・相変わらず飲食関係の動きが悪く、当店に対する注文状況もあまり良くない。		
一般小売店〔自転車〕（店長）	販売量の動き			・新生活の始まる4月であるにもかかわらず、売行きは悪い。		
百貨店（売場主任）	販売量の動き			・外国人観光客向けの売上は好調であるが、身の回り品、食料品などの売上は相変わらず悪い。		
百貨店（営業担当）	お客様の様子			・熊本地震の影響か、店頭に来客数や単価は週末でも低迷している。その一方、富裕客による高級時計や高級ブランド靴の引き合いは非常に多く、あまり影響は感じられない。		
百貨店（販促担当）	販売量の動き			・今月も動きに大きな変化はなく、食品、雑貨は堅調であるが、衣料品は苦戦している。気候は良いものの動きは鈍く、ヒットアイテムもない中で傾向は変わらない。熊本地震の心理的影響は目立たないが、一定の購買抑制心理が作用していると思われる。高額品は希少性のある物などに人気があり、動きは底堅い。		
スーパー（店長）	販売量の動き			・2月に競合店がオープンして以来、週末がかなり苦戦している。平日はまだ持ちこたえているところが救いである。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	販売量の動き	・食品の購入点数は、やや昨年を下回る傾向にあるが、衣料品の購入を控える動きはみられず、例年どおりの販売状況となっている。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・マイナス金利や景気の減速感に加え、熊本地震があり、従来からの節約マインドが強まりつつある。売上の顕著な減少はなく、底堅いものの、上向く状況ではない。
		スーパー（広報担当）	来客数の動き	・気温も平年並みで、衣料品の売上は比較的堅調に推移しているが、住居関連品の動きが今一つである。食料品は生鮮関連もやや低調であるが、食品雑貨や総菜が好調であり、全体的にはほぼ昨年並みの水準となっている。
		スーパー（開発担当）	お客様の様子	・全体的に単価が低い特売品は売れるが、定番商品の売上は上がらない。
		スーパー（社員）	競争相手の様子	・昨年から今年にかけて、多くの店舗で来客数が前年比で増加している。競合他社から当社店舗に客がシフトしていることもあり得るが、競合他社の店舗も来店客は多く、活発な様子であるため、客の消費は前年よりも活発になっていると考えられる。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客の動きに特に顕著な変化はみられない。
		コンビニ（店員）	お客様の様子	・客の節約傾向は相変わらずで、売上も横ばい状態である。
		コンビニ（店員）	お客様の様子	・前半はレジャー客が多く、忙しい日も多かったが、後半はゴールデンウィークに入るまで来客数も少なく、単価も低い。
		コンビニ（広告担当）	来客数の動き	・値上げ商品もあったが、全体が大きく変わるほどではない。
		衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・春物と夏物を買って控える客が増えている。
		乗用車販売店（営業企画）	単価の動き	・大手自動車メーカーの燃費不正問題などで、客の動きに注目している。
		その他専門店【医薬品】（経営者）	来客数の動き	・特定メーカーの紙おむつが、今年の初旬までは爆買いに近い状況であったが、メーカーが中国のサイトで直接販売するようになり、当店でのご購入がほぼなくなった。おむつ関連だけみれば、大きく減少している。
		その他専門店【宝石】（経営者）	お客様の様子	・以前に比べると、外国人客が増加し、日本人客は減少している。株価の変動も来客数に影響している。
		その他専門店【宝飾品】（販売担当）	お客様の様子	・催事などで高価格帯の商品を購入する客はいても、全体的な入場者からみると、その割合は少ない。
		その他専門店【スポーツ用品】（経理担当）	販売量の動き	・景気の上向き感はない。
		その他飲食【自動販売機（飲料）】（管理担当）	お客様の様子	・4月は移転案件と新規が入り混じるので、忙しいが、全体量が増えたようには思わない。
		都市型ホテル（客室担当）	来客数の動き	・客室稼働率は依然として高い状態ではあるが、直近の集客には陰りがみられる。レストランの来客数も普通の水準であるほか、宴会関係は依然として苦戦しているのが現状である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・街中での動きが最近少し良くなってきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・外国人観光客の需要が徐々に伸びてはいるものの、大きな流れにはなっていない。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・客の売上状況には、特に変化はみられない。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・新年度が始まり、契約数の落ち込みが少し和らいでいる。
		ゴルフ場（支配人）	単価の動き	・物価の上昇や熊本地震による影響が出ている。
		パチンコ店（店員）	お客様の様子	・新入社員が入ってくる時期に、熊本地震の対応も重なり、大変だと感じる。
		その他サービス【ビデオ・CDレンタル】（エリア担当）	販売量の動き	・熊本地震の影響が出ている地域は別にして、当エリアは従来の傾向どおりである。販売部門の売上の減少を、レンタルや書籍、カフェなどの相乗効果でカバーして、全体では前年並みの売上を維持している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅販売各社は、新築物件の販売に苦慮している。一部の投資家向けの案件は好調のようだが、全体的には流通が停滞気味と感じている。</li> <li>・分譲マンション用の土地取得競争が激化しており、土地価格の高騰が続いている。</li> <li>・顧客に変化はみられない。</li> </ul>
		住宅販売会社 (従業員)	競争相手の様子	
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕(経営者)	それ以外	
	やや悪くなっている	一般小売店〔珈琲〕(経営者)	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市内の商業施設の売上は、アジアからの旅行者によって好調な一方、周辺の市町村での売上が低迷している。また、熊本地震の関係で、仕入商品の調達ができなくなり、欠品が起きている。</li> <li>・気温の変化が激しく、天気の良くない日も続いたため、来客数が激減した。当店には年配の客が多く、シルバーカーや杖を必要とする客には外出が難しい時期であった。また、比較的近い場所に巨大なショッピングモールがオープンし、華やかなオープニングイベントが何日か続いたため、この辺りはひっそりとしている。</li> <li>・4月と1月の売上前年比を、各地区別に上位5店舗の平均でみると、関西は4月が93.8%で、1月が99.8%、関東は4月が96.3%で、1月が99.8%、中部は4月が102.0%で、1月が106.8%、中国は4月が84.0%で、1月が95.7%となり、各地区の平均は4月が94.3%で、1月が100.3%と、4月に入ってから非常に悪い。熊本地震が多少影響しているのかもしれないが、特に4月中旬ごろから更に下降気味である。</li> <li>・ゴールデンウィークを前に、消費をあえて抑えているのか、外食も含めて消費が鈍くなっているように感じる。春休みが終わると、急に週末も含めて商品の動きが鈍くなった。今年のゴールデンウィークは大型であるため、余計に抑えているのかもしれない。</li> <li>・卒業や入学、送別の時期が終わり、来客数が減っている。</li> <li>・3月から食料品を担当しているが、3月はプロモーション効果も含め、ほぼ前年並みをキープしたが、4月に入って少し厳しい状況である。特に、菓子や進物、酒などの動きが鈍い一方、生鮮品は好調である。熊本地震以降は良い数字が出ていない。</li> <li>・今月は目標を下回る見込みである。熊本地震以降、消費を抑える傾向が目立つ。特に、実需型商品の減少が厳しい。さらに、客はファッションよりも、食やコトのほか、趣味やし好品、こだわりの商品への消費に変わってきており、不要不急の消費はますます抑え気味である。</li> <li>・昨年のこの時期は、中国人観光客による爆買いの影響で、売上が大きく底上げされていた。今年は化粧品売上が前年を上回っているが、高級時計や特選ブランドの高額品は、前年からほぼ半減しており、免税売上も前年比で3割減となる見通し。富裕層の外商顧客の動きは、前月から幾分は回復しているが、しばらくは反動減による影響が続き、厳しい状況が続くそうである。</li> <li>・婦人服と菓子の動きが悪い。</li> <li>・今月は売上、入店客数、客単価、レジ客数など、すべてが前年実績を約3%下回って推移している。特に、熊本地震が発生してから、いつ地震が起きると心配する暗い雰囲気広がって、購買意欲が鈍化しているように感じる。</li> </ul>
		一般小売店〔時計〕(経営者)	来客数の動き	
		一般小売店〔菓子〕(経営企画担当)	販売量の動き	
		一般小売店〔精肉〕(管理担当)	販売量の動き	
		一般小売店〔花〕(店長)	来客数の動き	
		百貨店(売場主任)	来客数の動き	
		百貨店(売場主任)	お客様の様子	
		百貨店(企画担当)	お客様の様子	
		百貨店(営業担当)	販売量の動き	
		百貨店(サービス担当)	お客様の様子	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（服飾品担当）	お客様の様子	・3月末からの雨天の影響もあって、月前半の売上は苦戦したが、後半になっても顧客の動きは活発化せず、買い控えの様子がみられた。特に、衣料品の動きがかなり悪く、ヤング、アダルトのすべてにおいて、春物商戦が縮小している。また、ラグジュアリー商材も国内客の売上がやや悪く、メンズのみが好調に推移している。その一方、雑貨関連も宝飾品に買い控えがみられ、客単価が前年比で96%と下がっている。消耗品である化粧品だけが好調を維持するなど、客の嗜好品の買い方に変化がみられる。
		百貨店（商品担当）	来客数の動き	・インバウンドの売上にも以前ほどの勢いがなく、特選プティックや婦人服などのファッション商品が売れずに苦戦している。特に、来客数が減っている。
		百貨店（商品担当）	来客数の動き	・化粧品などのように、インバウンド需要に支えられ、好調を維持している商品があるものの、全体的には入店客数が伸び悩み、厳しい状況となっている。
		百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・先月までは店頭売上が前年を上回る推移をしていたものの、今月は前年比で2.6%減となっている。高額品の落ち込みが顕著であり、特選衣料はマイナス6.5%、宝飾品はマイナス25.1%という推移である。インバウンド関連の売上も全体で前年比マイナス3.2%に対し、特選衣料は前年比でマイナス25%、宝飾品はマイナス45%と、やはり高額品が大きく減少している。
		百貨店（外商担当）	販売量の動き	・衣料品の売上減をインバウンド売上がカバーするという状況に変わりはないが、インバウンドの高額受注が減少してきている。トータルでは伸びているが、以前のような伸び率は望めない。
		百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・原油安や株安のほか、小幅な賃上げを背景にした国内景気の低迷のほか、物価上昇の影響や、可処分所得の停滞を払しょくする材料がないため、生活防衛意識が強くなってきている。そのため、特に中間所得者のマインドの回復が見込めない。
		百貨店（営業企画）	お客様の様子	・熊本地震や、世界経済の低迷によるリスク回避の円高などで、消費マインドが悪化している。
		百貨店（売場マネージャー）	お客様の様子	・株安や熊本地震の影響を受けてか、高価格帯の商品の動きが厳しく、買い控えが増えている。特に、年配客にその傾向が強く感じられる。
		百貨店（販売推進担当）	販売量の動き	・強いていえば販売量が良くないが、来客数と単価の変化をみると、両方悪化している。単価の低い商品が動き、来客数も低迷傾向にある。インバウンド需要も、来客数、単価共にダウン傾向にある。
		百貨店（マネージャー）	単価の動き	・成長のけん引役であった、富裕層の高額消費が前年比でマイナスに転じている。特に、輸入時計や紳士服の海外ブランドなど、高級品の客単価の下落が顕著である。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・これまで単価を押し上げていた輸入原材料の価格が、円高や需給の緩みなどで低下し始め、それを販売点数の増加でカバーできない状況になりつつある。具体的には、豚肉や食用油、穀物類などを使用する食品類で、販売点数をカバーしようと各社が価格訴求を強め、2～3年前の状況に戻りつつある。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・1人当たりの買上点数が昨年を下回っており、回復の兆しがみえない。必要でない商品は安くても買わないなど、節約志向が顕著な反面、割引セールには反応が良く、単品での価格訴求よりも効果的である。
		スーパー（店員）	単価の動き	・熊本地震の影響で野菜の単価が高くなり、特売日しか客の入りも良くない。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・野菜の相場安、鮮魚の不振で、売上が前年割れとなっている。
		スーパー（企画）	来客数の動き	・昨年秋から個人消費は踊り場に入り、衣料品、生活関連品は苦戦していたが、食料品は好調であった。年明け以降は下降局面へ突入し、春先からは食料品にまで買い渋りがみられる。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・昼食の弁当購入の際、お茶やみそ汁、カップめんなどのプラスワンの購入がなくなり、パンと飲物などで安く済ませる人が多くなっている。
		家電量販店（経営者）	お客様の様子	・客の財布のひもが固い。家電製品を故障しない限り買い換ええない傾向が強く、販売量が落ち込んでいる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・熊本地震の影響で、消費の目録ムードが高まっているように感じる。また、九州での建物倒壊や道路の寸断により、現地の生産ラインがストップし、復旧までに時間がかかりそうである。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・昨年よく報道された大手企業の過去最高益というニュースも、最近では耳にしなくなり、円高、株安傾向が続いている。資産価値が減っているのか、客の購買意欲も昨年より下がっている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・4月の決算明けは、例年受注が落ち込む。今年は特に悪く、前年比で約8割となっている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・株価の乱高下により、なかなか客の購買意欲が高まってこない。
		住関連専門店（店長）	お客様の様子	・例年であれば、そろそろ個人客の商談数が伸びてくる時期であるが、今年は非常に少ない。購入時期の計画も具体的でなく、慎重さがみられ、先延ばしする客が多い。
		その他専門店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・のりの価格高騰により、利益の確保が難しくなっている。競合他社との競争上、思うように値上げができていない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・平日の来客数が厳しい。
		一般レストラン（経理担当）	来客数の動き	・国内経済の閉そく感や、消費意欲を低下させるような外部要因が強く影響している。
		一般レストラン（企画）	来客数の動き	・来客数の前年比は、今年に入って低下傾向が続いている。それまで多かった土日の来客数も、ディナー、ランチの順に減少がみられる。4月の前半は、前年と比較して花見の期間が長く、天候も良好で好調となったが、後半はそれ以上の低下が続いている。
		その他飲食〔コーヒーショップ〕（店長）	来客数の動き	・比較的低価格の商品を取り扱っているが、利用者の数は前月から減り始め、前年比での減少幅が大きくなっている。客との会話でも、収入が増える見込みもないので、日々の支出を節約しているとの声が聞かれる。
		観光型ホテル（経営者）	それ以外	・4月については、昨年にもみられた大型団体の利用が今年はなく、稼働率、販売量共に悪化した。ただし、インターネット予約を中心とした個人客の動きは、引き続き好調である。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・やや高単価の宿が不調である。
		観光型旅館（管理担当）	お客様の様子	・連泊での利用が減少傾向にあるほか、売店での購入金額が伸びない。
		都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・熊本地震による被害が非常に大きく、歓送迎会やお花見などの宴会予約がかなりキャンセルになるなど、落ち込みは非常に大きい。
		都市型ホテル（総務担当）	来客数の動き	・宿泊の客室稼働率がやや低迷しており、前年を下回る日が続いている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・熊本地震の影響で、九州方面のキャンセルが相次いでいる。振替希望も半数ぐらいいはあるが、ゴールデンウィークは既に予約が取りにくい状況であり、国内旅行が大きく落ち込んでいる。
		旅行代理店（店長）	お客様の様子	・熊本地震で景気がかなり落ち込んでいるほか、旅行に関しても大きな影響を受けており、見通しが立たない。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・熊本地震の影響は一時的な動きになるかもしれないが、自然災害に対する不安もみられる。
		旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・熊本地震の影響が大きく出ている。個人の一般客はほぼキャンセルとなり、行き先を振り替えるのではなく、時期を改めるといった動きが多い。教育旅行の客は、時期や方面の変更となるが、行楽については地震の後は控えるといった動きが出ており、状況はかなり悪くなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・年度末から新年度にかけての波も落ち着き、一段落している状態で、暇である。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・アミューズメント施設で、メダルゲームの設置台数が減少している。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・近くに大きな娯楽施設がオープンする。その影響が既に出始めているのか、集客の勢いが非常に鈍い。
		競輪場（職員）	単価の動き	・3か月前の客単価は10,911円で、今月の客単価は9,860円と下がっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		美容室（店長）	販売量の動き	・客の余裕がどんどんなくなっており、節約傾向が強まっている。セット販売の化粧品も、使う分しか売れない。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	来客数の動き	・4月の来場数は前年比で1割ほど減少している。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	お客様の様子	・熊本地震の影響で、不動産の購入マインドが低下している。また、復興に向けた人員の確保により、建築費の更なる上昇が懸念される。
	悪くなっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・節約志向が更に強くなり、一つ一つの買上に対して慎重になっている。また、特選ブランドや時計、宝飾関連の動きが引き続き低迷している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・当店の南と北にある競合店が共にリニューアルオープンしたため、車での移動が苦にならない人はそちらに出かけている。人口減少の影響も含め、来客数が大幅に減少している。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・4月は春らしい日が少なく、春物衣料が売れずに半分近く残っている。5月になると夏物が中心になるため、春物の在庫を抱えることになる。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・天候不順の影響もあるが、熊本地震の発生によって財布のひもが固くなっている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・4月初めは花見などで人の往来が激しく、来客数も伸びて順調であったが、熊本地震以降は外食する気にならないのか、来客数も減っている。		
企業動向関連 (近畿)	良くなっている	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・2か月連続で、単月としては直近10年間で最高の売上を記録した。また、熊本地震の支援関連の受注もきており、短期的にみれば非常に景気は良い。
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・連休前のこの時期は荷動きが活発になるが、今年は業務用製品の動きも良く、例年以上に上向き傾向である。九州地方への販売もごくわずかにあったので、熊本地震の影響もあまりみられない。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・気温の上昇によって飲料水の販売が好調であり、販売店の受注量は伸びている。
		食料品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・まとめ買いが多くなってきている。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・期末に発注控えがあった影響もあると思われるが、4月は発注量が増えてきている。昨年に比べても少し多い。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・偶然に受注量や販売量が増えているのではなく、注文のサイクルが短くなっているため、弱いながらも手ごたえを感じる。
		金属製品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新規受注が既存製品の売上の落ち込みを補って、業績を支えてくれている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末が過ぎてから、少し受注量が増えてきた。電話での問い合わせも多くなっている。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・期初の割に、広告の出稿状況が良い。
		コピーサービス業（店長）	受注量や販売量の動き	・受注量は若干であるが、右肩上がりでも推移している。年度末の動きも好調であり、やや良い印象である。
	変わらない	繊維工業（団体職員）	受注量や販売量の動き	・企業によって受注量にばらつきがあるようである。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量や販売量は、季節的要因を考慮すると変化はない。先日の業界の会合でも変化は感じられず、どちらかといえば近畿地区は少し減少傾向といった意見が多い。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・あまり大きな変化もなく、低位安定状態が続いている。
金属製品製造業（管理担当）		受注量や販売量の動き	・建築、土木関連には目立った物件がなく、太陽光発電関連も全盛期の10分の1になっている。	
一般機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・ここ数か月の景気は低調であるが、特に今月が落ち込んでいるわけではない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・以前は国内の景気が悪く、海外は活気があったが、最近では海外でもコスト競争が厳しくなっている。これまで日本の競争力は高コストの影響で低下してきたが、政府による価格上昇政策により、ビジネスの足が引っ張られている。金融緩和にもかかわらず、物価は上がっていないため、多少はほっとしているが、海外での競争激化が不安である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・売上は良いが、受注が減少している。		
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・海外からの引き合いが、やや減少傾向にある一方、国内の自動車産業からの引き合いが増加傾向にあり、全体としては現状維持である。		
		建設業（経営者）	取引先の様子	・3月末の完了工事が一段落し、技能労働者不足も落ち着いてきている。		
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・集客は増えているようだが、客単価は低いままである。		
		輸送業（営業所長）	それ以外	・仕事の案件は増えてきたが、運転手不足で受けられない時がある。		
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・一番売れるこの時期に売れないのは、目新しさがなくなったことが要因と考えられる。		
		通信業（管理担当）	取引先の様子	・市場にも当社にも、あまり変化がない。		
		金融業〔投資運用業〕（代表）	それ以外	・中長期的に為替の円高方向への推移は免れず、それを見越して不安感が高まる。		
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・読者数が伸び悩み、何とか現状を維持している状況である。折込件数も2～3月は上向いたものの、今月は良くない。		
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・Web広告、紙の広告共に、前年の売上をいくらか下回る状態は今年も変わっていない。		
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィーク前でパタパタしているが、月前半は忙しくなかったため、トータルでは変わらない。		
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月は特に外国人観光客の花見が目立ったほか、テーマパークの周年記念祭の効果により、関西の主要駅は大いににぎわっている。		
		やや悪くなっている		繊維工業（総務担当）	取引先の様子	・得意先による消費者向け催事では、販売数が減少している。景気の足踏み感が購買意欲に悪影響を及ぼしており、富裕層への販売によって全体の売上を下支えしている。熊本地震による影響は、これから出てくると予想される。
				化学工業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・販売数量が、前年よりも5%少ない。
不動産業（営業担当）	競争相手の様子			・円高が進んでおり、国内での投資が止まっている。それに伴い、神戸の事務所や社宅、不動産の賃貸ニーズが減少し、景気は悪くなっている。		
広告代理店（営業担当）	取引先の様子			・郊外のショッピングセンターにおいては、来客数は横ばいであるが、売上が前年をやや下回っている。		
経営コンサルタント	それ以外			・周辺の小売店をみると、大型店舗では高級品の販売と低価格品の販売の二極化がみられる。一方、一般の小売店では、来客数の減少や購入単価の低下がみられる。		
その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	競争相手の様子			・日々の受注量が減少し、物件の見積依頼なども非常に少なくなってきた。		
その他非製造業〔商社〕（営業担当）	受注価格や販売価格の動き			・価格競争が始まり、単価の下落が止まらない。価格差による失注も増えてきている。		
悪くなっている				その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・先行きが不透明である。
雇用関連 (近畿)	良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数が前年の120%を超えているほか、人材紹介については200%以上の実績が出ている。求職者の売り手市場になっており、求人側の企業の質や姿勢次第で、マッチングに差が出ている。当社においても、対応しきれない求人は断っている。		
		民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・機械メーカーを中心に、求人が増加している。		
	変わらない	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人企業数が前年比10%増で推移している。前年も増えたが、今年も増加傾向が続いている。		
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・新年度に入って全体的に動きは落ち着いており、本来の派遣の動きに戻りつつある。労働者派遣法の改正への理解度が増してきたため、このゴールデンウィーク明けから忙しくなると予想している。		
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・年度が新しくなり、しばらくは求人が落ち着いている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・求職者数が3月に比べて落ち着いてきており、全体的に動きが鈍く、慎重である。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・新聞の求人広告は新規参入会社が低迷し、拡大していく可能性があまり感じられない。これからは高齢者の求人に特化することも必要であり、60歳以上の高齢者の実績や人脈の活用につながる情報発信が重要と考えられる。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	求人数の動き	・新聞求人数に特徴的な動きはなく、景気に変化は感じられない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・年度が変わっても特に何の変化もなく、スロースタートである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・昨年に比べても、求人数が増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で27.9%増え、8か月連続の増加となっている。4月の増加幅が大きいのは、チェーン展開する飲食店から全国の店舗の求人が大量に出たことが要因である。この大量求人を除くと、求人数は前年の実績を下回るが、これは前年に別の大量求人があったことが要因とみられる。業種別では、前述の飲食業が大幅に増加したほか、製造業、専門・技術サービス業、労働者派遣業などで増加している。一方、宿泊業、社会福祉・介護事業、情報通信業、卸・小売業などでは減少となった。事業所への景況感のヒアリングでは、普通という声が多く聞かれる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・求人数は依然として多く、人材が採用できていない企業が多いため、現在の良い環境が続くと予想される。
学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・通期途中のサラリーマンに、心なしか元気がないように感じられる。インバウンドの方が元気のようにみえる。		
やや悪くなっている		人材派遣会社（役員）	採用者数の動き	・昨年度までは企業の採用数が増加の一途であったが、今年になって落ち着いてきており、更に先月、今月と減少傾向にある。季節的な問題や、労働者派遣法の改正による影響もあるが、採用意欲に一時のおう盛さが感じられない。
		アウトソーシング企業（管理担当）	それ以外	・仕事がないわけではないが、単価の悪い物ばかりである。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・大阪府内の企業に対する調査では、景況感が悪化している。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・新入社員が入社するため、派遣求人の動きは落ち着いている。ゴールデンウィークを挟むため、出勤日数が減り、売上も減少する傾向にある。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・県内企業の求人数が昨年に比べて少なくなっている。
悪くなっている		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・電話での聞き取りでも、今年は特別に悪いという、建設下請業者の声が聞かれる。

## 8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (中国)	良くなっている やや良くなっている	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・競合相手の近隣スーパーの閉店で、客がこちらに流れている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・街並みが再生され通りがすっきりした影響で来客数が増えてきている。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	販売量の動き	・年度末の仕事に加え、支店開設に関する注文が多くなっている。
		一般小売店〔紙類〕（経営者）	来客数の動き	・5～10人の外国人団体観光客が増えており、景気が上向いている。
		スーパー（店長）	それ以外	・熊本地震が起こり、水やカップラーメンのまとめ買いが目立つ。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・気温上昇に伴い、来客数は徐々にではあるが増加傾向である。
		コンビニ（支店長）	来客数の動き	・来客数増加の状態が続いている。
		コンビニ（副地域ブロック長）	販売量の動き	・酒や飲料の購入数の増加が全体の売上を押し上げている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・改装を行った影響で販売量がやや良くなっている。
		家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・来客数は前年比100%未満であるが、販売量が増加しているため景気がやや良くなっている。
		住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・平日の来客数が増え、前年をクリアできている。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	お客様の様子	・外国人観光客の増加で購買量が増えている。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・当月は花見目当てのインバウンド客が前年に比べて非常に増え、一般客も前年並みで、総じてやや伸びている状況である。
		タクシー運転手	販売量の動き	・営業所の目標売上をクリアしているので、悪くはない。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・客の様子がやや良くなっている。
		テーマパーク（営業担当）	来客数の動き	・天候に大きく左右される面があるが、団体客、個人客共に前年より増えている。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・例年、梅雨時期前までに住宅購入を検討する客が動く。
		変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き
	商店街（理事）		お客様の様子	・客の環境の変化によって購買意欲の浮き沈みがある。
	商店街（代表者）		来客数の動き	・例年は卒業、入学、転勤などで進物商品を求めて来客数が増える時期であるが、今年はそれほど多くない。
	商店街（代表者）		お客様の様子	・今年に入り客の購買意欲の改善はみられず、各店舗とも売上確保に苦心している。
	一般小売店〔靴〕（経営者）		お客様の様子	・当店は地方の中心部に位置する商店街に立地するが、来街者が増えないので、今月は来客数をかなり確保している店に委託販売を依頼したところ売上が良くなっている。
	一般小売店〔食品〕（経営者）		来客数の動き	・来客数は伸びないし、先行き不安感が漂う。
	百貨店（経理担当）		販売量の動き	・4月の売上は前年をやや下回る見込みである。化粧品と婦人服飾は好調であるが、ミセス婦人服や美術品、貴金属、家庭用品は不調で、ヤング婦人服や紳士服、食品は前年並みである。
	百貨店（営業担当）		お客様の様子	・客は高額であっても自分の価値観に合えばスーパーブランドを購入するので、売上は前年を大きく上回っており、化粧品についても同様である。その一方で一般婦人服については、安くても必要でなければ購入しないので、前年を割っている。
	百貨店（営業担当）		単価の動き	・購入客数は前年より2けた増で推移しているが、売上は前年を若干下回っており、客単価が大きく低下している。特に高額品の動きが数か月前と比較すると鈍くなっている。
	百貨店（売場担当）		お客様の様子	・4月前半は気温が高く、衣料品やUV関連を中心にやや上向きの基調であったが、熊本地震を境に客の購入マインドが鈍った様子で、特売日にも踊らない雰囲気になった。
	百貨店（購買担当）	お客様の様子	・気温が高くなり春物の動きが順調で、衣料品関係は前年並みで推移していたが、熊本地震後は客の買い控えが出始めている。しかし北海道物産展は前年を大きく上回る売上であり、食への出費を控える代わりに、衣料品関係への出費を控える動きが目立つ。	
スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価に変化はない。		
スーパー（総務担当）	単価の動き	・前年の客単価より緩やかに上昇しているが、数か月単位では変わらない。		
スーパー（販売担当）	販売量の動き	・一回の来店時の購入量が減少傾向で苦戦が続いている。ただし当月に限れば、熊本地震関係で被災地の親族宛てに大量購入する客もあり、思わぬところで助けられている面がある。それも考慮すると総体的に景気は横ばいである。		
スーパー（管理担当）	来客数の動き	・客単価は3か月前の状況を維持しているが、来客数が伸びず売上が前年に届かない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の動きが良くない。本部の商品政策があった今月は来客数が伸びて前年をクリアしているが、来月は難しい。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数は前年より減少しているが、売上は前年並みである。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・前年より売上が増加しているが、利益はそこまで伸びていない。
		その他小売 [ショッピングセンター]（所長）	来客数の動き	・3か月前と比較しても来客数は前年並みである。
		その他小売 [ショッピングセンター]（運営担当）	単価の動き	・施設全体の売上は、新店が入ったことにより伸びてはいるが、既存店単店での売上は前年を割っている状況がみられる。
		高級レストラン（宴会サービス担当）	来客数の動き	・1月から来客数は前年並みに推移している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・客はインターネットで情報を得た後に店を選んでおり、正直な商売のやり方が認められつつある。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・景気は低迷したまま、一向に上向きになってこない。当業界は中小企業の景気に左右されるところがあり、中小企業の景気が回復しなければ良くならない。
		その他飲食 [サービスエリア内レストラン]（店長）	来客数の動き	・熊本地震の影響でサービスエリア沿線の交通量が減少している。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・ふるさと旅行券の駆け込み需要で実績を伸ばした3か月前との比較ではやや悪くなっている。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・インバウンド客の増加で宿泊やレストランでの収入は大幅に伸びている。その一方で、熊本地震の影響で個人消費に自粛ムードがあり、やや低調である。一時的な海外客の消費に反して、国内の景況感は良くない。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・宿泊では販売室数に変化はないが、室料単価が上昇している。宴会やレストランでは企業宴席が減少している。
		都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・桜の開花予想が3月下旬となったので4月上旬の予約が伸び悩んだ一方、4月下旬のゴールデンウィークの先行予約は例年並みに推移している。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・個人客は所得層によってかなりの変化がうかがえるが、全体的にみるとあまり変わらない。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク商戦ではほぼ前年並みであるが、販売単価は低下しており客は節約傾向にある。
		タクシー運転手	お客様の様子	・4月は様々なイベントがあり、客の動きがある。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・通信、放送サービスについて業界内で値上げがない、むしろサービス品質向上からすると実質値下げ傾向という理由からか、客は価格を気にして購買を見送ることがない。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・年度替わりで新規加入件数が増えている。
		テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・春のイベントが始まり、天候の良い日は多くの来客数を期待したが、目立った増加がみられない。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・一日平均の売上が横ばいである。
		美容室（経営者）	それ以外	・新年度を迎えたが、来客数と売上に変化はなく、客の財布のひもはまだ固い。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・イベントの来場者数が伸び悩んでいる。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・客の様子から高齢化による廃業が相次ぎ、終わりが見えてこない。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・ゼロエネルギー住宅や同補助金など国の施策はあるが、客は住宅メーカーに流れ、設計事務所への依頼に至っていない。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・前回の消費税率引上げ後、戸建て住宅の引き合いが減ったままである。新しい住宅エコポイント制度の効果も今回は全くない。住宅ローン金利の引き下げによる効果に期待しているが、今のところ借り換え需要の話は聞くものの、新しい需要の増加には至っていないようである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	やや悪くなっている	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・住宅ローンは依然低金利であるが、消費税率引上げの動向が不透明なため、客の決断が慎重である。
		商店街（代表者）	単価の動き	・売上は前年と比べて非常に悪く、客の要望が分からない。デフレは止まらず、必要な物を必要なときに購入する客の姿勢に変化はなく、厳しい状況が続いている。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	お客様の様子	・相変わらず国内の売上は低調で、客は欲しい物だけを買う傾向がある。新茶の時期であるが、動きがない。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・初夏物商戦も実需期に入ってきたが、婦人服、紳士服を中心にコートやスーツなどの高単価アイテムの動き悪く、衣料品の動向は極めて厳しい。また食料品の動きも3月以降低迷が続いており、前年のプレミアム付商品券の反動が大きく、消費の回復にはしばらく時間がかかる。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・婦人服を中心に消費マインドが低下状態にあるうえ、熊本地震の心理的な影響もあって厳しい状況が続いている。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・数十万円のメガネや和食器は売れるが、100万円超えの美術品や時計は売れず苦戦している。
		百貨店（営業推進担当）	販売量の動き	・衣料品を中心に売上が伸び悩み、特に婦人衣料が苦戦している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・先月まで売上高が前年の104%を保っていたが、今月は売上高が101%、販売量が99%、来客数が100%で、販売量が減少している。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・安くても必要な物しか客は購入しない。支出金額を抑えようとする傾向が依然としてみられる。
		スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・販売数量、客単価共に前年を少し下回っている。競合他社との価格競争も厳しく好転は見込めない。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・花見需要は例年どおりであったが、それ以降前年を上回っていた既存店の来客数が前年とほとんど変わらなくなっている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・客の購買力が世間の動きに従って低下している。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が前年の90%前後となっており、特に単身者向け商品需要に前年との開きがある。単身者向け商品需要の減少に加え、購入点数や購入単価の低下が顕著である。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・月の前半には桜の花が咲き、楽しい気分になって街に出る人が増えているが、財布のひもは相変わらず固い。特に山陰地方は給与を上げる企業が少なく、物価は上昇しているので生活が楽ではない。
		一般レストラン（外食事業担当）	お客様の様子	・来客数は前年の95～97%が2～3か月続いている。10人以上の宴会の減少に起因し、21時以降の来客数が月を追うごとに減少して、前年の82～90%となっている。また本店が九州に隣接していることから、熊本地震以降の予約が極端に減少しており、平日と休日の売上も低下している。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・歓送迎会の時期が終わり、宴会の客単価が低下してきている。またネットを通じた宿泊単価も下がり気味である。
		通信会社（広報担当）	販売量の動き	・総務省から当業界への指導により価格の一部制限があった影響で販売数が減少している。
		テーマパーク（管理担当）	来客数の動き	・入館者数や商品販売高などが、前年同月比で微減している。
		ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・熊本地震の影響で4～5月の予約が減少しており、今後も影響が出そうである。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・駅前に大きな商業施設ができたので、人の流れがそちらに向かい、商店街の来客数と売上が伸び悩んでいる。
悪くなっている	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・4月の販売状況は前年の80%と大変厳しい状況である。	
	乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・熊本地震の影響で工場の稼働が止まり、新車が出荷できず、販売が前年の60%まで落ち込んでいる。	
	その他専門店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・高額品が売れない。ゴールデンウィークでレジャー消費が増加し、ますます物品購入が減少しそうである。	
	その他専門店〔海産物〕（経営者）	単価の動き	・団体客、個人客共に年間で最も少ないのが4月であるが、来客数は前年並みで購買単価が10%低下の状況である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
企業動向関連 (中国)	良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・好調に推移している。
	やや良くなっている	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・熊本地震の特需が発生している。電子商取引の市場拡大により、取扱数量は増加傾向である。個人の引越し需要が例年より堅調に推移し、前年より大幅に増加している。
		通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・前年度同時期と比較し、セキュリティへの関心の高まりからセキュリティIT商材の引き合いが増加しており、短い期間での受注が見込める。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・取引先の受注量が上向きに推移している。4月の販売促進で各業態からの受注量が総合的に増加している。
	変わらない	農林水産業（従業者）	それ以外	・3月と12月を比較すると、水揚げ数量は333tの増加、水揚げ金額は555万円の減少である。増加理由は沖合底引き網漁、大中型巻き網漁の増加であるが、魚価が下がったため水揚げ金額は減少している。
		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・熊本地震の影響で防災備品の需要が伸びている。
		木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・住宅関連の個人環境は金利や諸優遇策は整っているが、消費税率引上げ実施の有無や個人所得の先行き不透明感などで実需につながっていない。
		化学工業（総務担当）	それ以外	・セメントの需要が低下しているなど、素材産業にとっては好ましくない事業環境となっている。鉄鋼業界や石油業界でも業界再編が進むなど、素材型産業は今後の見通しが悪い。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・建設用案件があり多忙感に変化はない。工程品は連休対応があり多忙であるが、連休明けの引き合いは低調である。
		鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・各分野の実需が弱く、手持ちの受注残が減ってきて鋼材需要に全く盛り上がりがない。荷動きも引き続き低調である。
		一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量や販売量の動きに変化がない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	それ以外	・来年の消費税率10%への引上げは既に織り込み済みといえども、先行き不安は払しょくできない。また株値の低迷に加え、不安定な為替動向を加味すれば、景気浮揚の好材料は見当たらない。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・主要客からの受注内示は、若干の下方修正が入ってきているが、大きな落ち込みではない。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注調整が必要な状況が続いている。今年度中はこの状況に変化はなく、配置技術者が予定工事で目一杯の状況である。
		建設業（総務担当）	取引先の様子	・熊本地震でマインドが低下してきているが、まだ不透明である。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3月は好況感があつたが、年度末需要による要素も多く、判断しにくい。
		金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・県内自動車部品メーカーの受注は、完成車メーカーの輸出が好調なため高水準を維持している。連日残業2時間程度と月1～2回の土曜出勤で操業中である。
		金融業（貸付担当）	取引先の様子	・取引先の製造業、卸売業の代表者へのヒアリングによると、売上高は伸び悩んでいるとのことである。要因としては、景気に関する報道等により消費者は買い控えている様子であり、前年同月と比べても改善はしていないようである。4月の年度初めにあっても、3か月前と比べてあまり変化がなく、景気は変わらない。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・飲食業の業績が低調である。売上高は減少気味のうえ、人件費の上昇等でコストは上昇している。
	やや悪くなっている	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先の新年度当初の増産計画に伴う受注量の増加見通しから一転し、国内景気に止まらず中国や東南アジアの景気後退感で輸出が伸び悩んでおり、受注量の下方修正を余儀なくされている。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年初から受注は昨秋比約10%減であるが、客側で在庫が増加している。今月の受注動向によって回復の動きとなるかどうかを注視している。
		非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・IT系分野の客が販売不調との情報がある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・当社の受注量は計画の80%程度しかなく苦戦している。要因として工作機械業界からの受注が減少したことがある。国内、海外とも受注が取れていない様子である。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・円高傾向にあることが要因で受注量や販売量の動きがやや良くない。
		その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・一時円高であったが再度円安に動いており、為替差益が赤字に転じる見込みである。かつ国内の消費動向は今一つで見通しは暗い。
		輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・熊本地震の影響で鉄道、自動車ともに荷動きが悪くなってきている。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新年度になり国内景況感が上向きになる様子はなく、客の積極的な通信設備更改も見込めない状況が続いている。
		不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数、成約件数が減少している。
	悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・売上が悪いせいで販売価格の下落が止まらない。
雇用 関連  (中国)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営企画担当）	求職者数の動き	・求職者数は徐々に動きつつある。複数回の相談会や正社員・職種限定のコンサルティングでピンポイントの人材確保を進める動きが高まっている。きめ細やかな求人公開、より多くかつ市場ニーズに合った求人確保が重要となっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・周辺企業から人手が足りないとの声が強まっている。特に飲食店などサービス業関係から、時給や給料底上げでコストアップになってもまず人手が欲しいとの声が目立っている。
		民間職業紹介機関（職員）	求職者数の動き	・一人の候補者が複数企業から内定を得るケースが増えており、選考過程における辞退、内定の辞退者が増加傾向にある。
	変わらない	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・派遣求人は高い水準で受注できているが、求職者不足でマッチングに苦戦している。
		人材派遣会社（支店長）	それ以外	・熊本地震の影響が、企業の求人が保留になるケースが若干目立つ。また求職者も県内での活動に変化はないが、県外からのUIJターン者の動きが鈍くなっている。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	採用者数の動き	・3月下旬から4月以降、自社説明会、選考会が本格的に開始され、学生の売手市場は文系理系共に続いている。新卒採用にとどまらず、即戦力の中途採用も売手市場で、特に営業系、技術系の資格保持者などに企業側のニーズが高い。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	求職者数の動き	・求職者数が3か月前と比べて約16%増加しているが、年度末に伴う増加であり、前年と比較すると新規求職者数に変化はなく落ち着いている。
		職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・3か月前と比較して新規求人数の動きに大きな変化はみられないため、変化が判別しにくい。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・大手自動車メーカーの燃費不正問題により、県内にある工場では生産ラインがストップしたままで再開の目途が立っていない。工場自体の雇用形態も今後混沌とするであろうし、それ以上に県内には部品調達の協力企業が多く、雇用に多大な悪影響を及ぼす可能性がある。本件の説明がまだ進んでいない状況ではあるが、以前にもリコールの隠ぺい問題を抱えていたこともあり、問題は長期化の様相を呈している。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・学生服製造やプラスチック製品製造の生産オペレーターの増員求人があった製造業が、前年同月比で新規求人数が3割増となったが、多くの業種で低調に推移したため、求人全体では横ばいとなっている。
		学校〔短期大学〕（学生支援担当）	求人数の動き	・求人数の増加はなかなか難しい状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪く なっている	-	-	-

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (四国)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・開店などのお祝い用商品が好調だった。法人からの注文が多少増えた。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・客単価が上昇しており、売上は前月比4%増加した。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・3月は全体的にやや良かった。最後の1週間が少し崩れたが、4月に入っても客数や単価が上昇しており、天候に恵まれていることもあり、良い状態が続いている。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・4月は前年よりも少し良い。3～4月の春休みを利用して旅行する学生が増えているという感じも見受けられ、多少良くなっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・4月になって四国八十八箇所参りが本格的に始まり、前年より利用客が増加している。夜間の人出も少しずつ増えているため、冬場より多少良くなっている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注棟数が増加している。
	変わらない	商店街（事務局長）	来客数の動き	・インパウンドを含め人通りは多いと感じているが、実質的な消費にはつながらず、売上は伸びていない。年明け以降の株安、円高傾向や、世界的な経済の先行き不安が重しとなって富裕層の消費に陰りが出始めている。
		スーパー（店長）	それ以外	・客の所得が段々と減ってきているのか、なかなかチラシの効果が表れない。一方で、値段を下げている商品の効果は続いており、客の様子が少しずつ変わってきているのではないかと思う。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・来客数が前年比横ばいで推移している。
		コンビニ（商品担当）	販売量の動き	・競合他社も含めて様々な企画を実施しているが、横ばいの印象を受ける。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・客単価が数か月間下落を続けている。販売数量についても、横ばいもしくは微減している。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・熊本地震により大分工場が1週間生産ストップしたことに加え、大手自動車メーカーの燃費不正問題を受けて、個人消費は動きが鈍い。法人の受注（届出）は新年度を迎え上向いている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	お客様の様子	・必要なものしか購入しない姿勢が強いものの、単価は若干上昇している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・4月前半は歓送迎会で来店客が多かったものの、後半に入り動きは鈍くなった。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・例年の販売数に比べて大幅に減少している。
		通信会社（支店長）	それ以外	・全体では大きく変わっていない。
		通信会社（企画）	お客様の様子	・客の様子から若干悪くなっている感じを受けるが、季節要因を考慮すれば、変わらない。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来場者数、予約数ともに前年と比べても、2～3か月前と比べても下回っており、やや停滞気味の状況が続いている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・固定客の動きには変化がない。
	やや悪く なっている	商店街（代表者）	単価の動き	・春休みの間はかなりの人出で賑わったが、4月中旬から後半にかけて、人はますます出ているが買いが細い。気温が上昇してきて春物の商戦が飛んでしまい、夏物待ちという段階になっている。
		商店街（代表者）	それ以外	・首長選挙で地域の再開発事業が白紙撤回になった。コンパクトシティを目指す街づくりに水を差す無策の活性化空白期間ができることを心配している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（代表者）	来客数の動き	・昨年末以降、来客数の減少傾向が続いており顧客動向も鈍く、なかなか回復の兆しを感じられない。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・店頭売上は対前年比で大きくマイナスになったが、外商売上は大幅なプラスとなった。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・熊本地震発生後、客の動きが鈍く、来客数も少なくなっている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・衣料品の苦戦が続いていることに加え高額品が低調で、2～3月と比べても売上トレンドが悪化している。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・花見シーズンが例年より早く終わり、寿司や惣菜などの需要に若干の影響が出た。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・価値ある良い商品が以前に比べ売れにくくなってきている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・今のところ大きな動きはない。
		衣料品専門店（総務担当）	単価の動き	・客数、単価ともに大きく下落している。特に高価格帯のコートやジャケットの売上が前年に比べ大幅に減少している。新しい服を買うのではなく、既にあるものを着ている客が多く、購入に繋がっていない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の受注は前年を下回って推移している。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少傾向にある。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊客はそこそこであるが、レストランや宴会場の来客数が減ってきている。熊本地震を受けて自粛等の理由から予約キャンセルが発生しており、今後は悪くなるかと考えている。
		旅行代理店（営業部長）	お客様の様子	・相変わらずインバウンドは堅調な伸びをしているが、依然として海外旅行需要が低迷しており、熊本地震の影響もあり、ゴールデンウィークには好調であった国内旅行需要も自粛ムードにならないか非常に不安な要素が多い。
		タクシー運転手	お客様の様子	・給料が上昇していないという声が多い。外食する回数も少なくなっている。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・3月の商戦期を終え来客数が減少している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・総務省指導による端末価格上昇の影響が出ている。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・4月の売上高は前月比横ばい、3か月前比16%減、前年比2%増となった。本場開催日が20日と多かったが、土日の本場非開催日が3日あり、うち1日は閉場したため、売上増につながらなかった。
悪くなっている	一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・消費者の購買意欲が落ちている。購入するとしても価格の低いものしか選ばない。	
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・4月中旬までは、前年を割りながらも売上、来客数共に順調に推移していたが、中旬以降は伸び悩んでいる。購買力が低下しているように感じる。	
企業動向関連 (四国)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年より早く春物の新製品を投入したことで従来より売り場の拡大が実現した。その結果売上も順調である。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・中国の景気が下向きになり、販売に陰りが見えてきたように思う。
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともに3か月前と変わらず、低位で推移している。
		電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・販売量に大きな変動は見られず、収益面についても利益率の異なる製品の構成差による多少の増減はあるものの特段の変化は生じていない。
		建設業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともに減少している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事、民間工事ともに相変わらず受注が伸びない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度初めの受注量は例年通り低調であるが、繰越業務を相当量抱えており、その完成売上額が業績に寄与しているため、3か月前と比べて変わっていない。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・変化がない。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・最近では住宅用不動産の案件ではなくて、法人用の案件の問い合わせが増えている。
	やや悪くなっている	木材木製品製造業	受注価格や販売価格の動き	・取引先からの受注見込みは前年と同水準だが、コスト低減の要望を本年度は多く受けている。一方で熊本地震等も影響し、原材料の調達コストは今後上昇してくる事が懸念される。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内需要は横ばいで推移している。海外需要については地域毎のばらつきがあるものの総じて減少傾向にある。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・太陽光パネルや小型の注文が、大変な勢いで減少している。代替としてバイオマス発電等に着手しているが、それを加味しても、やや悪くなっている。
		輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・熊本地震の影響を受け、九州方面の物流網が各所で麻痺し、四国から九州への発送貨物と九州から四国への到着貨物の双方が滞っている。菜種梅雨による日照不足から、農作物が生育不良にあり出荷量が伸び悩んでいる。全体的に取扱物量が減少傾向にあり、トラック便の積載効率低下による減収に繋がっている。燃油価格が上昇傾向にある中、コンプライアンス強化や人材不足による経費増の影響も大きく、企業単独による自助努力も限界に近づいている。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・熊本地震で工場などが被害を受けたナショナルクライアントからのCM出稿が減少している。
		金融業（副支店長）	競争相手の様子	・住宅ローン金利の更なる低下の影響で競争が激化しており、他金融機関への被肩代わりや店頭での金利引下げ要請が増加傾向にある。事業性融資が伸び悩んでいることもあり、金融機関の収益環境は厳しさを増している。
		公認会計士	取引先の様子	・全体的に利益等については前年よりも悪くなっている。業種によっては若干良くなっているところもあるが、総じてやや悪化している。
悪くなっている	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・荷動きが非常に悪い。熊本地震も影響している。	
雇用関連 (四国)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業）	求人数の動き	・有効求人倍率も高度成長期並みとなり、求人数は日毎に増えてきている。また、求人条件面でも賃金ベースは高くなってきている。有期契約者の時給も職種によっては1,000円でも厳しい状況となっている。
		民間職業紹介機関（所長）	雇用形態の様子	・介護職員は充足している病院や介護施設が多く見受けられる。但し、今後は介護職員が不足するのは間違いないので、引き続き募集活動を継続しているところが多い。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・引き続き正社員志向の求職者が多く、派遣には人が流れてこない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・ここ数か月間横ばい状態にある。
		職業安定所	それ以外	・3月の有効求人倍率は1.39倍となり、3か月前の12月が1.37倍だったことから、変わらないと判断した。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・高い求人倍率と人手不足感は増大しているが、企業側も先行きへの不安感から雇用条件への効果が出ていない。
	やや悪くなっている	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数は3か月前に比べて増加しているが、就職活動時期の変更（採用選考活動時期の前倒し）を考慮すると景気好転との判断には至らないと考えられる。
		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・派遣の求人が少なくなっている。専門性がある仕事の依頼が増加しているが就労に繋がらない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪く なっている	-	-	-

10. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (九州)	良く なっている	コンビニ（エリア 担当・店長）	来客数の動き	・熊本地震の影響で一時的に良くなり、コンビニエンスストア自体の景気が良くなっているようであるが、今からの動向が気になるところである。物資が行き届いてからの客の動きに注目していきたい。3～4月半ば以前の客数、客層に落ち着いていく。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	単価の動き	・年度が変わる時期であったため、関連する名札、名刺、贈答品、合鍵等のオーダーが多かった。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・生鮮食料品及び住居用品等も前年割れしなくなってきているため、かなり売れ行きは良くなっている。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・熊本地震による救援物資、親族関係の買出しで当店を利用する客が増え、販売点数が伸びている。
		家電量販店（店 員）	販売量の動き	・家電業界では3か月前は暖冬であったので、景気は悪かったが、ここに来てやや良くなってきているようだ。ただ前年と比べるとどちらとも言えない。
		その他小売の動 向を把握できる 者〔土産卸売〕 （従業員）	販売量の動き	・熊本地震の影響で新幹線、高速道路の損傷があり交通網が崩れた。逆に鹿児島、福岡間の航空機の臨時便の増便により売上が増えた。
	変わらない	通信会社（企画 担当）	販売量の動き	・年度明け早々引き合いが多く、ほぼ受注できている。
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・気候の寒暖の変化が激しく春物商品の動きが悪い。消費に慎重な態度は相変わらず、低いままである。
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・時期的にその日、その月の売上は伸びているものの、例年の動きからすれば、前年比で今月の売上は伸びが良くない。客の購買動向も非常にシビアでなかなか売上に繋がらないところが、非常に厳しい。
		一般小売店〔青 果〕（店長）	それ以外	・市場の相場は、1～3月の相場に比べると当地域の気温も高くなり県外ものも入ってきているが、相場的に上がらず下がらずで、需要はほぼ横ばいである。
		一般小売店〔鮮 魚〕（店員）	それ以外	・身の回りでは景気が良くなったとは感じていない。ただ、妻が駅近くで、ティッシュ配りで結構たくさんティッシュをもらったと話、景気が良くなっているようだと言っていた。
		一般小売店 〔茶〕（販売・ 事務）	来客数の動き	・来客数は先月と変わらずだが、前年度と比較すると約1割の落ち込みがあった。やはり景気が大きな原因である。確かに客の購入単価は低い。贈答には中身の本数を減らし単価を少し高くするという傾向がある。
		百貨店（総務担 当）	販売量の動き	・特に衣料品の春物の動きが鈍く、テナントも本部指示にて春物商品の生産を控えているうえ、売れ筋商品は力のある店舗に集中する傾向が強く、気候が良くなってきても、当施設のような地方の店舗には十分な商品在庫が持てない状況が続いており、欠品による売り逃しが発生している。
		百貨店（売場担 当）	競争相手の様子	・同業他店は、3か月前とほぼ変わらない。特に衣料品関係の婦人服、紳士服ともに売上が落ちている。食品がけん引しているが、そのなかでも物産催事についてはかなりバラつきが出ている。客単価については非食品、食品とも前年実績を上回っているが、非食品の購買客数がかなり落ちている。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・食料品と身の回り品は前年を今月も上回っている。ただ、衣料品と暮らしの商品は厳しくなっている。
		スーパー（総務 担当）	お客様の様子	・同じような商品でも売価の安い商品の動きが良く、客の価格へのシビアさがうかがえる。
		スーパー（経 理担当）	販売量の動き	・熊本地震の影響で水、即席麺他の簡便食品やウエットティッシュ等の売上が上がっている。震災の影響を除いても基本的な食材の売上は安定している。
		コンビニ（経 営者）	単価の動き	・当店はコンビニエンスストアであるため、目的買いの客が利用する形態である。したがって、目的買い以外の商品の購入があるときは景気が良いという感触を持っており、そういったものさしで計ると、依然として客単価はシビアな状況が続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・客数がともかく伸びない。客単価も3か月前と比較してあまり変わらない。結果、売上に変化はなく厳しい状況が続いている。景気回復の兆しは全くみられない。
		衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・4月中旬の熊本地震により後半はその影響を受けた。ただ当地は被害があったわけでもないの、一般的な購買に陰りはないが、気分的なものもあったのか、買い控えのような反応があった。
		家電量販店（広報・IR担当）	販売量の動き	・全体的に熊本地震の影響もあるが、AV商品関連が伸びていない。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・今月は地元産業祭があり、天気にも恵まれ、そこそこの売上と来場者があったが、その前後の来場者数、売上は良くない。
		その他専門店【コーヒー豆】（経営者）	お客様の様子	・4月の熊本地震以降の客入りは前月と変わらない。ただ今後、復興再建に伴ってコーヒー業界がどう動くかというところはまだ見通しが立たない。
		その他専門店【ガソリンスタンド】（統括）	お客様の様子	・燃料油の小売価格は、底を打ち少しずつ上昇局面になったようだ。満タン給油の客に変わりないが、客のためいきが聞かれる。
		ドラッグストア（部長）	販売量の動き	・熊本地震の影響で当社の店舗も被災し、数店舗ではまだ営業ができない状況である。一方で、他エリアの販売状況が良く、被災地支援のため物資を購入する動きがみられている。
		その他小売【ショッピングセンター】（広報担当）	販売量の動き	・客数、販売量、客単価の動きに大きな変化はみられない。停滞感がある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・熊本地震後、タクシー利用が非常に多く、毎日の稼働が大変良い。現在でもタクシーが足りない状態で動いている。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・目立った変化はない。
		競馬場（職員）	販売量の動き	・販売量について数か月前と比べて変化はないものの、依然として好調に推移している。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・3か月前のあまり景気が良くない時期に比べて、熊本地震の影響もあるのか、だんだん上がってくるのが普通であるが、今一つ回復していない。
		美容室（店長）	お客様の様子	・「ゴールデンウィークに旅行に出かける」などの景気の良い話は聞かないので、景気は変わらないと見込んでいる。
		設計事務所（代表）	お客様の様子	・熊本地震とそれに伴う余震により悪い。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・熊本地震の影響で、熊本の客の動きが止まっている。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・熊本地震により、約1週間営業できなかった。また、店を再開しても客が激減している。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・熊本地震の影響で観光地のテーマパークや市内の旅館等のキャンセルが相次いでおり、その影響が多少なりとも当商店街にはあるようだ。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・熊本地震の影響が大きく、買物する客の勢いが無い。人通りも例年の4月に比べて少ない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・1年のうち最も多く人の入替わる時期であるが、来店客数が減少し、客単価も伸び悩んでいる。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・最近当地では大型スーパー等が何店舗も開店し、またコンビニエンスストアが町内ごとにとんどん開店しているため、当商店街への客足が遠のいている。
		百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・一進一退の株価の状況もあるのが、ブランド品、時計及び宝飾など高額品の売上が依然として悪く、前年比25%減で推移している。また、依然として不要不急の婦人、紳士衣料も売上が鈍化したまま。景気の悪さを如実に表している。インバウンド需要については、熊本地震以降、ツアーのキャンセルが出ているとのことで、震災以降の免税売上が前年比で半分程度に落ち込んでいる。
		百貨店（営業統括）	単価の動き	・本来この時期に購買されるはずの衣料品や見回り雑貨関連商品の動きが鈍い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（店舗事業計画部）	お客様の様子	・3～4月にかけては新生活に関する商品以外はあまり動きのないなか、今年は特に春物の衣料品、雑貨の動きが悪い。目新しい商品に乏しく、売場を回る顧客自体が少なくなっており、ギフトや歳時記以外では反応が鈍くなっている。
		百貨店（業務担当）	お客様の様子	・熊本地震が発生した。今後しばらくは客を含めて、被災者を中心に生活の建て直しが第一優先となる。食品、生活に関するリビング商品の需要が高まりそうであるが、ファッション商品の回復には時間が掛かりそうだ。
		百貨店（企画）	来客数の動き	・熊本地震による、県外顧客を中心とした入店減少への影響がある。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・熊本地震によって店舗の営業が不可能になり、店舗周りも災害復旧工事をしている状態で客には迷惑をかけている。店舗の修復で月後半は非常にだめであった。来月も復旧工事の関係で営業できるかどうか分らないので、見通しが見つからない状況である。
		衣料品専門店（店員）	来客数の動き	・熊本地震後も人出はあるが入店客数が減っている。4月はトラベル用などの服が売れる月だが今年は需要が少ない。
		衣料品専門店（チーフ）	それ以外	・前半はとんとんで前年同様の推移をしていたが、熊本地震後、客数の動きが減少するとともに客の消費マインドも低下気味である。
		家電量販店（総務担当）	お客様の様子	・端境期であることに加えて天候不順も重なり、来客数が前年割れしている。チラシやイベント等の効果も少ない。熊本地震の影響もある。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新車販売において期末商戦が終わり一服感がある。例年どおりのことであるが、今年は例年以上に低調な実績である。
		その他専門店〔書籍〕（副店長）	販売量の動き	・駅の新しい商業施設のオープンに加え、熊本地震により週末の来客数が減ったことによる影響が大きい。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	お客様の様子	・各店舗の売上、販促イベントの売上等において、前年同月比、前回比でやや悪くなっている。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	来客数の動き	・熊本地震の影響で外国人旅行客が減っている。そのためインバウンド売上が伸びていない。しばらくはこの傾向は変わらない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・熊本地震の影響を多大に受けている。
		都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・4月の売上は非常に良かったが、熊本地震によるキャンセルが多数発生しており、非常に厳しい状況になる。
		旅行代理店（企画）	お客様の様子	・熊本地震の対応等で旅行の中止が発生している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・駅周辺の大型商業施設の開業等があったものの、熊本地震により当地においても観光客のキャンセルなど沈滞ムードが漂っている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・熊本地震の影響で九州自動車道が寸断されていたため、車、バスなど輸送の流れが止まり、人の動きが悪い。
		タクシー運転手	お客様の様子	・熊本地震の影響により観光関係、タクシー、修学旅行のキャンセルが続出しており、今月はかなり厳しい状態である。
		通信会社（営業）	販売量の動き	・販売量の動きが、3か月前に比べて前年比でも良くない。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・特に観光地である当地では、熊本地震の影響で今年も調子が良くなく、前年比1割減のところ、今回の地震の影響で3割減となっている。インバウンド客は前年より2割増えている。ここ2～3か月ではなかなか増える見込みはない。対策も打ってはいるが、有効な対策を見いだせず、厳しく我慢している状態である。
		競輪場（職員）	競争相手の様子	・各場のグレードレースの売上について前年度比マイナス傾向がみられる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービスの動向を把握できる者〔フィットネスクラブ〕（営業）	来客数の動き	・熊本地震の影響により、新幹線と九州高速道路が停止している。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	競争相手の様子	・季節要因としては客増となっているが、4月の介護報酬マイナス改定の単価ダウンにより、同業他社の業績は軒並み悪化の傾向となっている。
	悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・熊本地震の影響で商店街への来客数がかなり減っている。客の様子をみても不要不急なものを買わない状況が見受けられる。地震が続いているという風評被害的な面もあり、大変厳しい状況である。
		一般小売店〔食料雑貨〕（店員）	販売量の動き	・熊本地震は販売先の飲食店に甚大な影響を及ぼしている。4月26日現在で市内飲食店で営業を再開したのは3割程度である。4月の売上は大きく落ち込んだ。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・熊本地震によって店舗周辺がほとんど被災してしまい、客数が減った。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・熊本地震の影響が出ている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・熊本地震の影響で、入店客数が減少している。地震発生前は前年を上回る入店があったが、地震発生後10日間は新幹線や九州縦貫自動車道の遮断による物流や人の流れのストップに加え、地震報道、地震速報、余震の発生等で来店客数は15%程度ダウンした。25日以降は春の北海道物産展、地域ぐるみのゴールデンウィーク催事等により客足も戻り前年を超える水準に回復しつつあるが、購買は回復していない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・九州については熊本地震後、非常に消費そのものが冷え込んできている状況である。今後の先行きが少しみえない。売上ではインバウンドの売上そのものがここにきてかなり落ち込んできている。
		百貨店（経営企画担当）	販売量の動き	・熊本地震以降、売上、来店客数ともに前年からマイナス5ポイントで推移しており、消費マインドの冷え込みが一段と厳しくなっている。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・今回の熊本地震による代償が大きく、飲食関係、食料品関係は補充が必要な状態であるが、他の部分に対する不安が多く、費用的にも相当な状況に陥っている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・景気そのものには関係ないが、熊本地震の影響で客の動きが鈍い。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・依然として来店者は少なく、終日閑散としている。
		衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・当地近くで熊本地震が発生し、また気候的にも例年と比べ不順であるため、商店街への来客が極端に減っている状態である。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・熊本地震以降、入っていた客の予約はすべてキャンセルになった。客もほとんど来ることがなく売上がガタ落ちとなった。
		高級レストラン（社長）	来客数の動き	・熊本地震の影響が大きい。
		高級レストラン（専務）	来客数の動き	・熊本地震で鉄道、飛行機などの交通網に影響が出ており、県外、アジアからの客が減って、大変な状態になってきている。客数が地震前の10分の1ぐらいになっている。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・4月半ばから来客数が減っている。熊本地震の影響もある。
		一般レストラン（スタッフ）	それ以外	・一時的、局地的なことであるが、熊本地震の影響で観光客が減少している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・月初より来客数が前年より少なく、例年なら後半にかけて持ち直していたが、熊本地震の影響で回復もみられず、前年を大きく下回る。
	居酒屋（経営者）	お客様の様子	・熊本地震の影響で自粛ムードにあることと、地震に対する不安で当地の観光が落ち込んでいる。	
	観光旅館組合（職員）	来客数の動き	・熊本地震で道路の通行止めや交通機関のまひ、また余震がいまだ続いていることもあり、キャンセル等も多数出て、集客に大ダメージを受けている。ゴールデンウィークの予約等は増えてきているものの連休明けの来客数がどれだけ戻ってくるのか不安が募る。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光ホテル(総務)	それ以外	・熊本地震による影響が出ている。
		観光型ホテル(スタッフ)	お客様の様子	・順調に予約が入っていたが、4月14日以降、熊本地震によりキャンセルが相次いでいる。宴会、宿泊、特に宿泊のキャンセルが非常に出ている。
		観光型ホテル(専務)	それ以外	・熊本地震の影響で長崎県もまるで被害があったかのような風評被害を受けている。キャンセルが相次いでおり、余震が収まるまで影響が続くと見込んでいる。
		都市型ホテル(販売担当)	販売量の動き	・熊本地震があり、宿泊客の減少や宴会の中止、出席者の欠席などが多く、売上が下がっている。この影響が上期まで回復できない可能性が大いにある。
		都市型ホテル(スタッフ)	来客数の動き	・熊本地震の影響が出ており、今後も当分続くだろう。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・熊本地震で店の被害もあり、悲惨な目に遭っている。
企業動向関連(九州)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	繊維工業(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・受注価格が高くなった。良い傾向だが、人材不足だ。外国人研修制度の活用もやめてしまうのだが、日本人の賃金の上昇も早過ぎる。中国での生産などが本格的に無理になってきて、国内に戻っても、非常に難しい状況下にある。技術もなくなってきている。
		一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・設備製造業では、年度初めの受注状況は例年この時期、芳しくない。今年も例年通り受注量が少なくなっている。
		金融業(従業員)	取引先の様子	・小売業については、熊本地震の影響もありいろんな商品が売れているので、3か月前に比べてやや上向きの状況である。
		経営コンサルタント(社員)	受注量や販売量の動き	・外国人客数が増え、前年比120%となった。売上が好調である。
	変わらない	農林水産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・4月は異動の時期でもありスーパー、居酒屋等好調な動きであった。鶏肉相場も前年より若干下がったが、まだ高値水準で動いており、その影響で加工メーカー筋も極端な値下げ要求はない。量的にも引き合いが相変わらず強い。
		家具製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・4月度の受注額、受注件数共に前年比で横ばいである。熊本地震もあり、サプライヤーの被災と物流の停滞、旅館やホテルなどのダメージも影響している。
		窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・熊本地震で今年の陶器市がどうなることかと心配したが、29日の初日は人通りが多く、大変盛況であった。
		建設業(経営者)	競争相手の様子	・客の数、また考え方が以前と変わっていない。
		輸送業(総務担当)	取引先の様子	・熊本地震の影響で、熊本以南への配送が困難になっている。受け入れ先も被害に遭っているため今後の受注量にどれだけ影響がでるか懸念される。いずれにしても、地震後の受注量が減少しているのは事実である。
		輸送業(総務)	受注量や販売量の動き	・熊本地震の影響で通常業務ができない客もいる。飛行機、高速道路、鉄道などの運休や幹線道路も寸断されている状況となっており、業績は悪化している。
		通信業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・3月期決算で増収増益が見込めた。さらに、当面のソフトウェア関連の受注を確保し、今後もしばらくは一定の収益が見込めることになっている。
		金融業(従業員)	取引先の様子	・求人数が増加し続けているなど、雇用環境は改善傾向にあり、個人消費もスーパー、コンビニエンスストア等の売上が増加するなど、緩やかながら持ち直してきている。一方、中国や新興国の経済が減速傾向にあるため輸出関連の生産は弱含んでいる。
		金融業(営業)	取引先の様子	・中国景気の後退以降は、低迷が続いている。為替や株価も乱高下しており、投資も様子見の姿勢が強い。
		金融業(調査担当)	取引先の様子	・足元の需資に大きな変化はない。
		金融業(営業担当)	取引先の様子	・熊本地震により、運送業、建設関係の業者は特需を受けているが、飲食業等は企業、公務員等の自粛ムードもあり売上高は減少している。したがって状況は変わっていない。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・目立った動きがみられない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・取引先から業況を聞くと、特に変化がないという回答が多い。
		その他サービス業〔設計事務所〕（代表取締役）	取引先の様子	・市町村の調査、計画、設計等の予算が少なく、発注件数が少ない。現在、男女共同参画や障害者向けの調査や計画等の委託の入札が行われているが、入札価格が低く、安い金額で落札している傾向にある。市町村からの発注件数が少ないため、業務の取り合いになっている。
	やや悪くなっている	農林水産業（営業）	それ以外	・熊本地震で輸送関連に大きく影響が出ている。観光客の減少も予想される。
		金属製品製造業（事業統括）	受注量や販売量の動き	・東京オリンピック需要が見込める東京地区においても、基礎工事だけしか進んでおらず、建築設備機器の発注の段階には至っていない。加え、熊本地震での復旧工事があると見込めるが、建築設備まで至らない。
		電気機械器具製造業（取締役）	それ以外	・先週末の熊本地震の関係から九州内での今後の動向がまだ読めない。地震による各種工場の不稼働でマイナスとなる局面が大であるが、別途ビジネスが発生する可能性もある。
		その他製造業（産業廃物処理業）	取引先の様子	・円安により相場は若干戻りつつあるが、熊本地震の影響で取引先が操業停止等により仕入れができない状況にある。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・九州に関して言うと、14日と16日の熊本地震により大きな打撃を受けている。それにより問屋、ホームセンター系の納品が減少した。しかし、九州自動車道は今月全線開通予定であり、何とかトラックも配達が進んでいるので、そこまで落ち込みはないようであるが、やはり打撃としては大きい。
		金融業（得意先担当）	取引先の様子	・熊本地震の影響を危惧する代表者が多く、現状直接的な被害はないが、今後の状況を勘案すると景況感はやや悪いとみる。
	悪くなっている	その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	取引先の様子	・熊本地震の影響があり、熊本に本社や工場、拠点や取引先がある会社は対応に追われている。当社の客も被災しており月末決済が微妙な先もある。地震ではリース契約に含まれる動産総合保険は使用できない。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月になると途端におかしくなって受注量も大幅に減ってきている。また、熊本地震による流通関係の部品並びに原材料の交通機関に対して時間が掛かり過ぎるために、流通全体が大幅なダウンになっている状態である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・熊本地震の影響で、生産設備が一部壊れている。また、被災により出勤できない従業員が半数程度いる。そのため、受注量の4割しか生産できていない。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	それ以外	・熊本地震により操業停止となった。
		建設業（社員）	受注量や販売量の動き	・3月末でどの建設業者も手持ち工事が完了し、自社機械や資材置場等の整備に社員や作業員を配置している。繰越工事のある建設業者はごく一部の地場大手だけである。例年ならこの時期を見込んで民間工事があるが、今年は見積依頼も少ないようで、早目の発注をしてほしい。
		経営コンサルタント（代表取締役）	それ以外	・今月は熊本地震以降、月末まで活動がほとんどストップしている状況となっており、悪い。
雇用関連 (九州)	良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で20.7%増、6か月連続で2けた増加となった。1事業所当たりの求人数が増加する傾向がある。
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社（社員） 求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き 周辺企業の様子	・長期派遣求人の依頼は例年並みであり、退職者の補充などにとどまっている。 ・駅直結の商業施設ビルがオープンし、博多駅周辺はにぎわいをみせているが、一方熊本、大分を震源地にする熊本震災の影響は集客という点ではかなり出ていると考えられる。1週間が過ぎても余震が続いているため、復興も合わせればはるかに人の消費行動も弱まると考えられる。地元の求人は直接的には影響は出てきていないが、現地に支店や営業所がある企業は何らかの影響を受けている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年2月の宮崎県の有効求人倍率は1.02倍と前月を0.02ポイント上回った。有効求人倍率は11か月連続で1倍台を維持している。</li> <li>新規求人数では前年比マイナスの月もみられるが、有効求人数は増加傾向が続いており、有効求人倍率も高い水準で推移している。</li> <li>3月以降の求人数は前年度と同推移である。</li> </ul>	
		職業安定所（職業紹介）	求人数の動き		
		学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き		
	やや悪くなっている		人材派遣会社（社員）	それ以外	・熊本地震の影響でキャンセルが多数出た。
			人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・注文数が減ってきている。求人を出す、応募がほとんどないことのほうが多い。直接雇用の求人が増えていてそちらへ流れていると企業担当者に聞くが、同じように企業担当者も応募が少ないことに苦労しているようだ。
			人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人依頼数が前四半期よりも低調である。熊本地震の影響もあり採用を見合わせず企業も出ている。
			人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・毎年の傾向ではあるが、求人案件数の動きが鈍い。求職者数の動きも落ち着いている。熊本地震に加え、ゴールデンウィークも控えているため、市場の動きが出るのはもう少し後になりそうな気配がある。
			新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・熊本地震のため、当地でも交通や流通に影響が出ている。
			職業安定所（職員）	求人数の動き	・熊本地震の影響により、事業休止や廃止を余儀なくされた被災事業主から求人取消依頼や雇用調整助成金にかかわる問い合わせが急増している。
			民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・熊本地震のマイナス影響が出ないはずはない。
新聞社〔求人広告〕（担当者）			それ以外	・熊本地震とそれに伴う余震により悪い。	
悪くなっている					

#### 11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (沖縄)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・値引き商品より新発売の商品に目がいく傾向にある。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・店舗のブランド転換に伴う閉鎖で、売上、客数は減少しているが、客単価は前年超えで推移しているため、個人の消費力は好調と感ずる。ブランド転換した店舗も品ぞろえやサービスが増えたこともあり、好調に推移している。
	変わらない	一般小売店〔菓子〕	販売量の動き	・海外観光客は増加しているが、土産物の購入には大きくつながらないように感じる。
		スーパー（販売企画担当）	単価の動き	・今月も1品単価アップにより売上は前年比アップとなる。客数はあまり変わらない。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・客単価が、前年と比較して10円ほど増えている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・4月から新年度になり、何かと忙しい人が多いと感じられる。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・客室稼働率の前年同月実績に対するマイナス幅が、3か月前と同様である。
		旅行代理店（マネージャー）	来客数の動き	・個人旅行の問い合わせはあるものの、予約までには至らないケースが多い。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・基本的に、弊社が予測した数値より良い数字が出ている。
		住宅販売会社（代表取締役）	来客数の動き	・金融機関の借入金利が下がっていることもあり、遊休地に米国人向け賃貸投資物件や、戸建住宅建築の相談が増えている。
		住宅販売会社（営業担当）	お客様の様子	・資材高騰や、職人不足からくる建築単価増による建築相談期間の延長がある。
	やや悪くなっている	百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・店全体では辛うじて前年を上回ったが、催事場の強化や動員企画によるもので、景気は鈍化傾向にあると感じている。免税売上を除くと前年割れとなる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	競争相手の様子	・客席数の多い居酒屋が来客数減少、求人難、人件費上昇、労働環境改善強化等で悩むなかで、オーナー経営で小回りの効く1～3名でできる小さな専門店が多くなって客が分散している。
		通信会社（店長）	販売量の動き	・総務省による販売価格の是正により全体的に値上げとなったため販売量が落ち込んでいる。また、新商品の品薄状態も影響している。
		その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	お客様の様子	・稼働日数が短くなっている傾向にある。これまでは那覇空港到着後、空港周辺からの出発が主だったが、インターネット予約で到着翌日から利用したり、当日のみの利用だったり利用の仕方に変化が見えてきたように感じる。
	悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・大型店は値段も崩せるが、小企業の場合はあまり値引きができないし、単価的に大変苦慮している。
企業 動向 関連 (沖縄)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	輸送業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・家具家電、衣料、食品、建築資材など全般的に取扱物量が前年と比較し増えている。受注価格の改定も進んでいることで収益も改善されている。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・期首であり出だしが鈍い。公共工事、民間工事共に減少している。
		会計事務所（所長）	取引先の様子	・新規のアパート建築着工なども一段落しており、建設業界は少し落ち着いている。
	やや悪くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、及び価格とも思わしくない。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連 (沖縄)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・今月だけを見ると求人数が増えており、景気が良くなっているような感覚がある。しかし、その理由は、中国の経済状況の変化で中国から撤退した企業が、国内で人件費の安い地域で事業展開をしていくという事情があるとのことである。複雑な気持ちが否めない。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・2～3か月前に比べ、派遣依頼や問い合わせの件数は横ばいかやや減少気味である。
		人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・新年度に入り求職者の動きが出てきたが、高賃金や正社員を目指す求職者が多く、ミスマッチが続いている。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・1月の週平均1,084件と比較すると、今月の週平均件数は1,059件で、25件程度減少している。
	悪くなっている	-	-	-